

平成 13 年社会生活基本調査における 標本の代表性と調査結果の推定について

高橋 雅夫[†]

臼井 彩子^{††}

社会生活基本調査は、その調査事項から、記入者の負担の大きな調査となっている。一方、近年核家族世帯や単身世帯の増大等により昼間不在の世帯が増えていると考えられる。これらにより、社会生活基本調査では当初標本として抽出された世帯が必ずしも調査に応じることができない状況が生じている。その場合この調査では、追加的な標本世帯の抽出を行い、これを代替標本としている。

本稿は、調査結果の正しい理解と利用を確保する観点から、平成 13 年社会生活基本調査の代替標本を含む標本の抽出状況及び標本の偏りの度合いを明らかにするとともに、調査結果の補正を含めた結果の推定方法及びそれに基づいた推定結果について考察を加えることを目的としたものである。

まず始めに、標本の抽出状況を調査不能世帯や代替標本世帯の割合の観点から分析した。次に、実際に調査・集計された標本について、男女、年齢階級別、配偶関係別等の人口の構成比が母集団におけるそれとどの程度異なっているかについて分析を行った。さらに、当初標本と代替標本との比較を上と同様に行い、最後に、調査結果の推定方法とその結果について分析・評価を行った。

キーワード 調査、標本、代替標本、推定、補正

Sample Representativeness and Estimation Method of the 2001 Survey on Time Use and Leisure Activities

Masao Takahashi

Ayako Usui

The Survey on Time Use and Leisure Activities is one of the heavy-burden statistical surveys due to its survey items on the time use of the respondents during specified two days. Besides, the number of absent households in daytime has been increasing, which was caused by such changes of our life style as the increase of the number of nuclear families and one-person households. Consequently, such situation was occurred in this survey as the original sample households could not respond to the survey, in which case additional sample households were drawn as substitutes for the original ones.

This paper aims at clarifying the situation of sampling with sample substitution and the degree of sample bias, and at studying the estimation method and its application with adjustment, all of which are based on the 2001 Survey on Time Use and Leisure Activities.

Firstly, we analyzed the results of the sampling in terms of non-response rate and substituted household sample rate. Then we made analyses on the difference between the composite ratios of surveyed sample households and the population households by basic items such as sex, age and marital status. In the next step, comparison between the original sample and the substituted sample was made. Lastly we made the analysis and the evaluation on the estimation method and the calculated results.

Key words : Survey, Sample, Substitute , Sample, Estimation, Calibration

目 次

はじめに

I 平成 13 年社会生活基本調査の概要

1 調査の概要

2 標本設計

II 標本の代表性の分析

1 標本の代替状況

2 母集団と標本の比較

3 当初標本と代替標本の比較

III 調査結果の推定

1 調査結果の推定と補正の方法

2 推定結果の評価

IV まとめ

おわりに

はじめに

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする調査で、昭和 51 年に初めて実施されたものである。それまでは、どちらかといえば就業・雇用や所得・消費など経済的な側面に重点を置いて統計が整備されてきたが、経済の高度成長を経て、国民生活の充実度を把握するための統計の必要性が認識されるようになった。このような状況に対応するため、この調査は、従来の統計が十分明らかにしていなかった、余暇活動を始め文化、健康など社会的な側面を明らかにする基本的な統計として始められたものである。調査は、以後 5 年ごとに実施され、最近では、平成 13 年 10 月に第 6 回調査が実施された。

平成 13 年社会生活基本調査の調査事項は、個人や世帯の属性に関する調査事項の外、大きく分けて二つの部分から構成されている。一つは、過去 1 年間に行った、スポーツ、学習・研究、趣味・娯楽、ボランティア活動、旅行・行楽などの自由時間等における活動の状況を調査する部分で、もう一つは、1 日の生活時間の配分を調査する部分である。後者の 1 日の生活時間の配分を調査する部分においては、調査客体は、生活行動の内容を 15 分ごとに 2 日間に渡って調査票に記入することになっている。これは、プライバシーに関わることであり、調査客体の負担が大きくなる一因となっている。また、核家族世帯や単身世帯の増大等により昼間不在の世帯が増えていると考えられ、実査に当たっては、必ずしも当初抽出された標本世帯の調査対象者が調査に応じることができるとは限らない状況が生じている。

このような状況に対処するため、平成 13 年社会生活基本調査では、標本数を確保することにより結果精度を保つことを目的として、調査ができなかった世帯数に対応する追加的な標本世帯の抽出を行い、これを代替標本世帯としている。

調査結果の正しい理解と利用を確保する観点からみると、代替標本を含む標本の抽出状況及び標本の偏りの度合いを明らかにするとともに、調査結果の補正を含めた結果の推定方法及びそれに基づいた推定結果について考察を加えることが必要であり、本稿はこれに対応することを目的としたものである。また、これらのことを行う必要性は、平成 13 年の調査の実施に当たり、統計審議会からも指摘を受けているところである。

平成 13 年社会生活基本調査においては、従前の調査における調査票と同形式の調査票である調査票 A (標本数約 7 万 3 千世帯, 19 万人。生活時間の調査部分に関しては、プリコード方式^(注1)。)に加え、生活時間の配分の詳細な結果を得るために新たに調査票 B (標本数約 4 千世帯, 1 万人。アフターコード方式^(注2)。)を導入したが、本稿では、標本数の多い調査票 A に関する状況について分析・考察を行った。また、標本の代替状況について分析・考察を行うに当たっては、入手できるデータの制約から、標本世帯を対象とし、標本世帯内の調査対象者に関する分析・考察は行わなかった。

注1 プリコード方式：調査票にあらかじめ記載された行動分類を記入者自身が選択する方式。

2 アフターコード方式：調査票に記入者自身が個々の行動を日誌のように記入し、集計の段階で行動分類に対応させる方式。

I 平成 13 年社会生活基本調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の法的根拠

この調査は、統計法（昭和 22 年法律第 18 号）に基づく指定統計調査（指定統計第 114 号）で、社会生活基本調査規則（昭和 56 年総理府令第 38 号）に基づいて実施した。

(2) 調査の期日

調査は、平成 13 年 10 月 20 日現在で行った。

ただし、1 日の生活時間の配分状況に関する調査については、10 月 13 日（土）から 10 月 21 日（日）までの 9 日間のうち、調査区ごとに指定した連続する 2 日間について調査を行った。

(3) 調査の対象

ア 調査の地域

平成 7 年国勢調査調査区（以下「調査区」という。調査区は、平均して約 50 世帯を含む地区である。）から選定した 6,440 調査区（以下「指定調査区」という。）において調査を行った。このうち、調査票 A によるものは 6,104 調査区である。

イ 調査の対象

指定調査区の中から選定した 7 万 7 千世帯に居住する 10 歳以上の世帯員約 20 万人を対象とした。このうち、調査票 A によるものは約 7 万 3 千世帯、約 19 万人となっている。

ただし、次の者は調査の対象から除外した。

- ① 外国の外交団、領事団及び軍隊の構成員（家族、随員及び随員の家族を含む。）
- ② 自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者
- ③ 刑務所・拘置所に収容されている者のうち刑の確定している者及び少年院・婦人補導院の在院者
- ④ 社会福祉施設の入所者
- ⑤ 病院、療養所等の入院患者
- ⑥ 水上に住居を有する者

(4) 調査事項（調査票A）

ア 10歳以上の世帯員に関する事項

- ① 氏名及び男女の別
- ② 世帯主との続柄
- ③ 出生の年月
- ④ 配偶の関係
- ⑤ 教育
- ⑥ ふだんの介護の状況
- ⑦ 携帯電話、パーソナルコンピュータその他の情報通信に関連する機器の使用の状況
- ⑧ インターネットの利用の状況
- ⑨ 学習・研究活動の状況
- ⑩ スポーツ活動の状況
- ⑪ 趣味・娯楽活動の状況
- ⑫ ボランティア活動の状況

- ⑬ 旅行・行楽の状況
- ⑭ 1日の生活時間の配分状況及び天候

イ 15歳以上の世帯員に関する事項

- ① ふだんの就業状態
- ② 従業上の地位及び雇用形態
- ③ 仕事の種類
- ④ ふだんの1週間の就業時間
- ⑤ 勤め先・業主などの企業全体の従業者数
- ⑥ ふだんの片道の通勤時間
- ⑦ 週休制度

ウ 60歳以上の世帯員に関する事項

- ① 子の住んでいる場所

エ 世帯に関する事項

- ① 住居の種類
- ② 居住室数
- ③ 自家用車の有無
- ④ 年間収入
- ⑤ 介護支援の利用の状況
- ⑥ 不在者の有無
- ⑦ 10歳未満の世帯員の世帯主との続柄、年齢、在学・在園及び保育の状況
- ⑧ 単身赴任等の別（一人の世帯のみ）

(5) 調査の方法

ア 調査の流れ

この調査は、次の流れにより実施した。

総務大臣（統計局長）－都道府県知事－統計調査員（指導員）

－統計調査員（調査員）－調査世帯

イ 調査の実施

調査は、次の手順により実施した。

① 世帯名簿の作成

調査員が、調査に先立ち担当調査区内の全世帯の世帯名簿を作成した。

② 調査世帯の選定

都道府県が、世帯名簿から一定の方法に従って調査世帯を選定した。

③ 調査票の配布及び収集

調査員が、調査日前に調査対象世帯に調査票を配布の上、記入を依頼し、調査日以後、記入された調査票を収集した。

(6) 集計及び結果の公表

集計は、総務省統計センター（現独立行政法人統計センター）において行った。

集計結果は、総務省統計局が取りまとめ、調査票Aに係る結果として、生活行動に関する結果を平成14年7月、生活時間に関する結果を平成14年9月に公表した。また、調査票Bに係る結果として、詳細行動分類による生活時間に関する結果を平成15年3月に公表した。

2 標本設計

(1) 概要

この調査の標本抽出方法は、層化2段抽出法である。

第1次抽出単位は、調査区（平成7年国勢調査調査区）であり、第2次抽出単位は、世帯である。

第1次抽出においては、47の都道府県ごとに調査区内人口に基づく確率比例抽出法により調査区を抽出した。抽出された調査区の数、調査票Aの場合、全国で6,104である。第2次抽出においては、各調査区内の世帯を対象に等確率無作為抽出法により抽出を行い、各調査区から12世帯を抽出した。

調査の対象者は、上記により抽出された世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員全員である。

(2) 調査区の抽出（第1次抽出）

まず、調査の目的を達成するための標本の効率性や調査実施の技術的観点を考慮して、抽出する調査区の対象から次のものを除外した。

- ① 山岳・森林・原野地帯等の調査区
- ② 大きな工場・学校等のある調査区
- ③ 社会施設・大きな病院のある調査区
- ④ 刑務所・拘置所のある調査区
- ⑤ 自衛隊地域の調査区
- ⑥ 駐留軍地域の調査区
- ⑦ 水面調査区

標本調査区の抽出に当たっては、都道府県ごとにそこに含まれる調査区を次の基準により配列した。

- ① 大都市圏に含まれるか否か
- ② 市町村の人口階級
- ③ 調査区特性（国勢調査調査区番号の後置番号）
- ④ 市区町村コード
- ⑤ 国勢調査調査区番号

都道府県ごとに、この基準に基づいて配列した調査区の人口を累積し、累積した人口に基づく確率比例系統抽出法により、標本調査区を抽出した。

(3) 調査世帯の抽出（第2次抽出）

各標本調査区について、調査日の前に調査員が調査区内の全世帯を訪問し、世帯名簿を作成した。この世帯名簿を用いて、調査区ごとに無作為に定めた抽出起番号と適切に定めた抽出間隔を用いて各調査区から12世帯を抽出した。

実査に当たって、やむを得ない理由により調査を行うことができない世帯があった場合には、結果精度を確保するため、調査世帯を追加抽出し、代替標本世帯とした。なお、調査の依頼期間の制約と代替標本を可能な限り少なくすることを考慮して、代替標本世帯は各調査区について原則として4世帯までとした。

(4) 生活時間に関する調査日の指定

この調査は、平成13年10月20日現在で行ったが、1日の生活時間に関しては平日及び曜日ごとの結果を集計する際の結果精度を確保するため、10月13日（土）から10月21日（日）までの9日間のうち連続する2日間が調査日となるよう調査区ごとに調査日の指定を行った。

なお、平日、土曜日、日曜日に割り当てられた調査区数の比は、およそ6：5：5である。

II 標本の代表性の分析

ここでは、実際に調査されて集計された標本が、日本全国をどの程度正しく代表したものとなっているか（標本の代表性）についての分析を行う。

分析は、次のような手順で行う。

まず始めに、当初抽出した世帯（当初標本世帯）のうち、不在等のやむを得ない理由により調査を実施できなかった世帯（調査不能世帯）や、それを補うために行った追加抽出（代替標本世帯の抽出）の状況等を明らかにする。

次に、実際に調査された標本について、男女別や年齢階級別等の構成比が母集団におけるそれとどの程度異なっているかについて分析を行う。

さらに、当初抽出されてしかも実際に調査された標本と、追加抽出をされて実際に調査された標本との比較を、上と同様に男女別、年齢階級別等の構成比によって行い、代替標本をとることにより、どのような影響が出ているかについて分析を行う。

以上の分析における計算に用いる標本数には、調査結果の推定の過程で用いた乗率（線形推定乗率。抽出率の逆数になっている。）でウェイト付けした標本数を用いる。ただし、第II編第1章における標本の代替状況についての分析は、要計表に基づくものということもあり、実際に抽出された標本数そのものを用いる。

なお、調査結果の公表の際に用いた集計用の乗率（比推定乗率）を加味した分析・結果の評価については、次の第III編で行う。

1 標本の代替状況

(1) 調査不能と標本代替の状況

ここでは、調査の実施状況を、調査不能の状況と代替標本の抽出状況等の観点から分析する。(第1表)

ア 調査実施世帯と調査不能世帯の状況

当初標本世帯のうち、実際に調査ができた世帯(調査実施世帯)は87.5%であり、残りの12.5%は調査不能世帯となっている。一方、代替標本世帯のうち、調査が実施できた世帯は66.4%であり、残りの33.6%は調査不能世帯となっている。

代替標本世帯を追加抽出の回数^(注3)(初回か否か)別にみると、初回の追加抽出世帯のうち、調査実施世帯は72.7%となっており、残りの27.3%は調査不能世帯となっている。また、2回目以降の追加抽出世帯のうち、調査実施世帯は51.0%で、残りの49.0%は調査不能世帯となっている。

以上のように、抽出の回数が増える(当初抽出→初回の追加抽出→2回目以降の追加抽出)にしたがって抽出世帯に占める調査不能世帯の割合が大きくなっている。

注3 追加抽出により抽出された代替標本世帯についても、やむを得ない理由により調査を行うことができない世帯があった場合には、2回目以降の追加抽出を行った。

第1表 当初標本世帯数と代替標本世帯数

	世帯数	構成比 (%)		当初標本世帯数に対する比率 (%)
		標本抽出世帯に対する構成比	調査不能世帯の理由別構成比	
標本（抽出）世帯総数	85,113	100.0		115.9
調査実施世帯総数	71,988	84.6		98.0
調査不能世帯総数	13,125	15.4	100.0	17.9
不在・面接不能	6,030	7.1	45.9	8.2
非協力	4,949	5.8	37.7	6.7
その他（不詳を含む）	2,146	2.5	16.4	2.9
当初標本（当初抽出）世帯数	73,433	100.0		100.0
調査実施世帯数	64,232	87.5		87.5
調査不能世帯数	9,201	12.5	100.0	12.5
不在・面接不能	3,922	5.3	42.6	5.3
非協力	3,589	4.9	39.0	4.9
その他（不詳を含む）	1,690	2.3	18.4	2.3
代替標本（追加抽出）世帯数	11,680	100.0		15.9
調査実施世帯数	7,756	66.4		10.6
調査不能世帯数	3,924	33.6	100.0	5.3
不在・面接不能	2,108	18.0	53.7	2.9
非協力	1,360	11.6	34.7	1.9
その他（不詳を含む）	456	3.9	11.6	0.6
初回の追加抽出世帯数	8,286	100.0		11.3
調査実施世帯数	6,025	72.7		8.2
調査不能世帯数	2,261	27.3	100.0	3.1
不在・面接不能	1,093	13.2	48.3	1.5
非協力	858	10.4	37.9	1.2
その他（不詳を含む）	310	3.7	13.7	0.4
2回目以降の追加抽出世帯数	3,394	100.0		4.6
調査実施世帯数	1,731	51.0		2.4
調査不能世帯数	1,663	49.0	100.0	2.3
不在・面接不能	1,015	29.9	61.0	1.4
非協力	502	14.8	30.2	0.7
その他（不詳を含む）	146	4.3	8.8	0.2

（要計表に基づく数字。）

イ 調査不能の理由別の状況

調査不能世帯について、抽出回数・理由別にその状況をみると、次のとおりである。

当初標本世帯における調査不能世帯のうち、「不在・面接不能」が理由となっているのは42.6%、（面接できたが）協力を得られなかった「非協力」が39.0%、転出等の「その他」が18.4%となっている。

一方、代替標本世帯における調査不能世帯についてみると、「不在・面接不能」、「非協力」、「その他」はそれぞれ53.7%、34.7%、11.6%となっている。これを追加抽出の回数（初回か否か）別にみると、初回の追加抽出世帯における調査不能世帯では、それぞれ48.3%、37.9%、13.7%となっている。また、2回目以降の追加抽出世帯における調査不能世帯で

は、それぞれ 61.0%、30.2%、8.8%となっている。

以上のように、抽出の回数が増えるにしたがって、「不在・面接不能」の割合が増大し、逆に、「非協力」、「その他」の割合が減少している。これについては、標本調査区の地域的な特性に加え、調査区ごとに生活時間についての調査日があらかじめ定められている中で標本数を確保（各調査区 12 世帯ずつ）しなければならないため、抽出回数が増えるほど不在の世帯を何度も訪問して調査を依頼することが困難になるという事情も影響していると考えられる。

ウ 標本の代替状況

前述のように、当初標本世帯（本来調査すべき世帯数）に占める調査実施世帯の割合は、87.5%となっている。

また、当初標本世帯数に対する代替標本の調査実施世帯数の比率（以下、「代替標本率」という。）は、10.6%である。このうち、初回の追加抽出による調査実施世帯の当初標本世帯数に対する比率は 8.2%で、2 回目以降の追加抽出による調査実施世帯の比率は、2.4%となっている。

なお、当初標本世帯数に対する、最終的に標本が確保できなかった世帯数の比率は、2.0%となっている。

都道府県別に当初標本世帯に占める調査実施世帯の割合をみると、新潟県が 93.8%で最も高く、次いで福井県（93.7%）、徳島県（93.4%）の順となっている。（第 2 表）

一方、当初標本世帯に占める調査実施世帯の割合が最も低いのは東京都で 72.9%、次いで広島県（74.5%）、栃木県（80.1%）の順となっている。

なお、代替標本率についても上記に近い状況であるが、最終的に標本が確保できなかった世帯数との兼ね合いがあり、順位については必ずしも上記と同じではない。

(2) 封入提出と調査不能世帯率

平成 13 年社会生活基本調査では、調査世帯やその一部の世帯員が希望した場合、調査票を調査票配布用封筒に封入して提出することを認めていた。

ここでは、要計表により把握した、世帯単位での調査票の封入提出の状況を都道府県別に示す（第 3 表）。また、封入提出率（調査世帯数に占める世帯単位の調査票の封入提出数の割合）と当初標本の調査不能世帯率（当初標本世帯に占める調査不能世帯の割合）も示した。

封入提出率と調査不能世帯率（当初標本）との関係を都道府県別にみると、弱い正の相関関係が認められる（相関係数：0.415）。つまり、概して、封入提出率が高いほど、調査不能世帯率も高くなる傾向がみられる。

このことの理由の一つは、プライバシー意識が高い地域ほどプライバシーを理由とした調査非協力が増えるとともに、封入提出率も高くなるためと考えられる。

また、核家族世帯や単独世帯の割合が高い都市的な地域ほど、不在・面接不能による調査不能世帯が多くなるとともに、封入提出をする世帯も多くなると考えられる。なぜなら、比較的新興の住宅地が多いそのような地域では、世帯員数が少ないために不在がちになり、また、地域との交流が密でない世帯がかなり存在し、初対面の調査員に調査票の記入内容を見られたくないために調査票を封入する世帯も多くなると考えられるからである。

なお、47 都道府県を、大都市を含むか否か等の基準に基づいていくつかのグループに分けることによって、封入提出率と調査不能世帯率とのより強い相関関係を確認することができるが、内容が本題から若干それるため、ここではこれ以上について言及しない。

第2表 都道府県，調査実施世帯・調査不能世帯別
当初標本世帯総数に対する代替標本世帯数等の比率

	当 初 標 本 世 帯 数	当初標本世帯総数に対する比率（％）										
		当初標本 世帯		代替標本世帯								
				総数			代替標本世帯 （初回）			代替標本世帯 （2回目以降）		
		調査 実施 世帯	調査 不能 世帯	総 数	調査 （代 替 標 本 率） 実施 世帯	調査 不能 世帯	総 数	調査 実施 世帯	調査 不能 世帯	総 数	調査 実施 世帯	調査 不能 世帯
00 全 国	73,433	87.5	12.5	15.9	10.6	5.3	11.3	8.2	3.1	4.6	2.4	2.3
01 北海道	2,496	88.2	11.8	13.1	9.9	3.2	10.5	8.1	2.5	2.5	1.8	0.7
02 青森県	1,344	92.5	7.5	9.6	7.5	2.1	7.8	6.2	1.6	1.8	1.3	0.4
03 岩手県	1,345	92.9	7.1	7.0	6.1	0.9	6.3	5.4	0.9	0.7	0.7	0.0
04 宮城県	1,353	83.9	16.1	14.0	10.4	3.6	12.9	9.6	3.3	1.1	0.8	0.3
05 秋田県	1,352	93.1	6.9	5.9	5.4	0.5	5.1	4.7	0.4	0.8	0.7	0.1
06 山形県	1,344	91.1	8.9	10.9	7.5	3.3	8.0	6.0	2.0	2.8	1.5	1.3
07 福島県	1,347	93.0	7.0	7.0	6.8	0.1	6.7	6.5	0.1	0.3	0.3	0.0
08 茨城県	1,346	89.2	10.8	11.4	7.7	3.7	9.4	6.8	2.7	2.0	1.0	1.0
09 栃木県	1,346	80.1	19.9	27.2	18.6	8.6	19.0	13.9	5.1	8.2	4.7	3.5
10 群馬県	1,343	90.6	9.4	9.2	7.6	1.6	8.0	6.7	1.3	1.2	0.9	0.3
11 埼玉県	2,401	91.3	8.7	10.3	7.9	2.4	8.1	6.2	2.0	2.2	1.7	0.5
12 千葉県	2,130	80.1	19.9	22.9	14.6	8.4	16.6	11.1	5.5	6.3	3.5	2.8
13 東京都	2,900	72.9	27.1	53.4	22.5	30.9	25.7	13.6	12.0	27.8	8.9	18.9
14 神奈川県	2,884	80.7	19.3	25.2	14.2	11.1	16.2	9.4	6.8	9.0	4.8	4.3
15 新潟県	1,344	93.8	6.2	7.4	6.2	1.2	6.2	5.2	1.0	1.2	1.0	0.2
16 富山県	1,346	92.0	8.0	10.0	7.8	2.2	7.8	5.9	1.9	2.2	1.9	0.3
17 石川県	1,347	88.2	11.8	10.8	8.8	2.0	9.4	7.6	1.8	1.3	1.1	0.2
18 福井県	1,344	93.7	6.3	7.0	6.0	1.0	6.0	5.2	0.8	1.0	0.8	0.1
19 山梨県	1,353	89.4	10.6	12.9	8.7	4.2	9.1	7.2	1.9	3.8	1.6	2.3
20 長野県	1,344	88.9	11.1	14.1	11.1	3.1	11.1	9.0	2.1	3.1	2.1	1.0
21 岐阜県	1,346	91.8	8.2	10.2	7.6	2.6	7.4	5.8	1.6	2.8	1.8	1.0
22 静岡県	1,346	89.8	10.2	13.4	9.9	3.6	10.0	7.9	2.1	3.5	2.0	1.5
23 愛知県	2,504	85.5	14.5	17.6	11.6	6.0	12.5	8.5	4.0	5.1	3.0	2.0
24 三重県	1,345	91.7	8.3	10.3	8.2	2.1	8.3	6.8	1.5	1.9	1.3	0.6
25 滋賀県	1,364	86.4	13.6	17.2	11.1	6.1	11.1	7.8	3.4	6.1	3.4	2.7
26 京都府	1,351	86.2	13.8	17.0	12.1	5.0	12.2	9.0	3.3	4.8	3.1	1.7
27 大阪府	2,891	81.9	18.1	17.2	12.8	4.3	14.7	11.1	3.7	2.4	1.8	0.7
28 兵庫県	2,118	86.8	13.2	17.5	12.3	5.1	12.7	9.3	3.4	4.8	3.0	1.8
29 奈良県	1,345	87.9	12.1	16.7	11.7	4.9	11.8	8.4	3.4	4.8	3.3	1.5
30 和歌山県	1,345	88.5	11.5	13.1	10.7	2.4	11.1	9.4	1.6	2.0	1.3	0.7
31 鳥取県	1,332	92.7	7.3	12.5	6.5	5.9	6.5	4.9	1.7	5.9	1.7	4.3
32 島根県	1,349	87.2	12.8	12.8	10.7	2.1	11.3	9.5	1.8	1.6	1.2	0.4
33 岡山県	1,348	88.7	11.3	14.5	10.2	4.2	10.6	7.6	3.0	3.9	2.6	1.3
34 広島県	1,350	74.5	25.5	55.0	25.0	30.0	27.6	15.0	12.6	27.4	10.0	17.4
35 山口県	1,344	87.4	12.6	11.6	9.5	2.1	10.3	8.3	1.9	1.3	1.2	0.1
36 徳島県	1,344	93.4	6.6	6.4	5.3	1.1	5.4	4.7	0.7	1.0	0.6	0.4
37 香川県	1,345	88.0	12.0	13.4	10.1	3.3	10.5	8.1	2.4	2.9	2.0	0.9
38 愛媛県	1,347	89.5	10.5	11.4	9.8	1.6	9.8	8.5	1.3	1.6	1.3	0.3
39 高知県	1,346	90.0	10.0	10.5	7.6	3.0	9.1	6.9	2.2	1.5	0.7	0.8
40 福岡県	1,938	82.9	17.1	27.6	14.8	12.8	15.8	9.6	6.2	11.8	5.2	6.6
41 佐賀県	1,344	91.3	8.7	9.5	8.3	1.2	8.5	7.4	1.1	1.0	1.0	0.1
42 長崎県	1,344	89.6	10.4	9.4	8.6	0.8	8.9	8.2	0.7	0.6	0.4	0.1
43 熊本県	1,350	88.7	11.3	9.4	7.6	1.8	8.5	7.0	1.6	0.9	0.7	0.2
44 大分県	1,346	90.5	9.5	10.8	8.8	2.1	8.8	7.4	1.4	2.0	1.3	0.7
45 宮崎県	1,354	88.3	11.7	13.7	10.3	3.5	10.5	8.0	2.5	3.2	2.3	1.0
46 鹿児島県	1,344	92.6	7.4	8.1	7.1	1.0	7.1	6.4	0.7	1.0	0.7	0.2
47 沖縄県	1,344	89.5	10.5	11.2	8.9	2.3	9.2	7.4	1.9	2.0	1.6	0.4

（要計表に基づく数字。）

第3表 封入提出率と調査不能世帯率

	調査世帯数 実施数(A)	封入世帯数 提出数(B)	封入提出率 (C=B/A) (%)	調査不能世帯率 (D)※ (%)
00 全国	71,988	3,756	5.2	12.5
01 北海道	2,447	85	3.5	11.8
02 青森県	1,344	41	3.1	7.5
03 岩手県	1,331	47	3.5	7.1
04 宮城県	1,276	76	6.0	16.1
05 秋田県	1,332	38	2.9	6.9
06 山形県	1,325	81	6.1	8.9
07 福島県	1,345	30	2.2	7.0
08 茨城県	1,304	111	8.5	10.8
09 栃木県	1,328	77	5.8	19.9
10 群馬県	1,319	109	8.3	9.4
11 埼玉県	2,380	101	4.2	8.7
12 千葉県	2,017	196	9.7	19.9
13 東京都	2,767	232	8.4	27.1
14 神奈川県	2,737	166	6.1	19.3
15 新潟県	1,344	76	5.7	6.2
16 富山県	1,343	61	4.5	8.0
17 石川県	1,306	77	5.9	11.8
18 福井県	1,340	31	2.3	6.3
19 山梨県	1,327	31	2.3	10.6
20 長野県	1,344	74	5.5	11.1
21 岐阜県	1,338	41	3.1	8.2
22 静岡県	1,342	33	2.5	10.2
23 愛知県	2,430	92	3.8	14.5
24 三重県	1,344	100	7.4	8.3
25 滋賀県	1,331	138	10.4	13.6
26 京都府	1,328	106	8.0	13.8
27 大阪府	2,739	135	4.9	18.1
28 兵庫県	2,100	168	8.0	13.2
29 奈良県	1,340	125	9.3	12.1
30 和歌山県	1,334	69	5.2	11.5
31 鳥取県	1,322	71	5.4	7.3
32 島根県	1,320	101	7.7	12.8
33 岡山県	1,334	103	7.7	11.3
34 広島県	1,343	99	7.4	25.5
35 山口県	1,303	46	3.5	12.6
36 徳島県	1,326	85	6.4	6.6
37 香川県	1,319	51	3.9	12.0
38 愛媛県	1,338	78	5.8	10.5
39 高知県	1,314	63	4.8	10.0
40 福岡県	1,893	57	3.0	17.1
41 佐賀県	1,339	36	2.7	8.7
42 長崎県	1,320	42	3.2	10.4
43 熊本県	1,300	29	2.2	11.3
44 大分県	1,336	62	4.6	9.5
45 宮崎県	1,335	39	2.9	11.7
46 鹿児島県	1,341	33	2.5	7.4
47 沖縄県	1,323	14	1.1	10.5

※当初標本世帯に占める調査不能世帯の割合

・ CとDの相関係数：0.415

(要計表に基づく数字。)

(3) まとめ

以上のように、抽出の回数が増える（当初抽出→初回の追加抽出→2回目以降の追加抽出）にしたがって抽出世帯に占める調査不能世帯の割合が大きくなっている。また、調査不能世帯の内訳としては、抽出の回数が増えるに従って「不在・面接不能」の割合が拡大し、逆に、「非協力」、「その他」の割合が縮小している。

都道府県別に当初標本世帯数に占める調査実施世帯の割合をみると、東京都が72.9%で最も低く、次いで広島県（74.5%）、栃木県（80.1%）の順となっている。

封入提出率と調査不能世帯率（当初標本）との関係を都道府県別にみると、弱い正の相関関係が認められる。つまり、概して、封入提出率が高いほど、調査不能世帯率も高くなる傾向がみられる。

2 母集団と標本の比較

ここでは、平成13年社会生活基本調査のデータ等を用いて、母集団と標本とにおける男女・年齢階級別等の人口の構成比の比較・分析を行った。これにより、調査された標本が、母集団からみて偏りを生じているか、生じている場合にはそれがどの程度なのかを知ることができる。

(1) 分析の方法

分析に当たっては、平成13年社会生活基本調査の調査票Aから得られた生活時間関係結果集計用の個別データを利用した。生活時間関係の調査事項については、1人の調査客体に対して連続する2日間調査を行っているので、標本数は調査客体数の約2倍の367,937である。

分析の際の比較に利用した母集団情報は、基本的に、平成13年社会生活基本調査の結果推定の際に用いた個人属性（男女・年齢階級）別ベンチマーク人口及び世帯属性（世帯の家族類型）別ベンチマーク人口である。配偶関係別人口等、上記のベンチマーク人口とは異なる区分で母集団との比較を行う場合には、便宜上、平成12年国勢調査又は平成14年就業構造基本調査の結果を用いた。

個人属性別ベンチマーク人口は、平成13年10月1日現在の推計人口から、社会生活基本調査において除外される人口を差し引いて算出したものである。また、世帯属性別ベンチマーク人口は、平成12年国勢調査の家族類型別の一般世帯数及び10歳以上の親族人員を基に、平成7年国勢調査から12年国勢調査までの増加率を1年間分掛けることによって平成13年10月1日現在の人口（世帯属性別・続柄別の人口）を推計することにより算出した。

平成12年国勢調査結果を母集団情報として利用する際には、「一般世帯」と、「施設等の世帯」のうちの「寮・寄宿舎の学生・生徒」の世帯人員を足した数値を用いている。これは、社会生活基本調査においては、国勢調査の「施設等の世帯」のうち「寮・寄宿舎の学生・生徒」の世帯人員は調査対象に含まれているが、「寮・寄宿舎の生徒・学生」以外の世帯人員については調査対象から除外されているためである。

分析に当たっては、平成13年社会生活基本調査の標本に線形推定乗率（抽出率の逆数）を乗じた線形推定値による男女・年齢階級別等の人口の構成比と、母集団におけるその構成比との差を比較した。また、検定の考え方に基づき、社会生活基本調査の線形推定値と母集団とによる男女・年齢階級別等の人口の構成比の差が有意か否かの検定を行い、有意水準5%の下で有意の差があると認められた場合には、統計表内に＊を表示させた。なお、ここで用いた検定の方法については付録に概要を記した。

(2) 男女別標本構成

まず、調査・集計されたすべての標本について、線形推定値による男女別の構成比を算出し、母集団（個人属性別ベンチマーク人口）と比較した。（第4表）

第4表 曜日、男女別人口の構成比 — 母集団と標本の比較

	人口		構成比 (%)		検定	
	母集団 (個人属性別 ベンチマーク 人口)	標本 (平成13年 社会生活基 本調査)	①母集団 (個人属性別 ベンチマーク 人口)	②標本 (平成13年 社会生活基 本調査)	②-①	有意 性
週全体	113,095,230	110,714,845	100.0	100.0	0.0	
男	55,084,304	53,099,940	48.7	48.0	-0.7	*
女	58,010,926	57,614,906	51.3	52.0	0.7	*
平日	113,095,230	110,480,302	100.0	100.0	0.0	
男	55,084,304	53,081,461	48.7	48.0	-0.7	*
女	58,010,926	57,398,841	51.3	52.0	0.7	*
土曜日	113,095,230	111,327,529	100.0	100.0	0.0	
男	55,084,304	53,200,425	48.7	47.8	-0.9	*
女	58,010,926	58,127,103	51.3	52.2	0.9	*
日曜日	113,095,230	111,274,879	100.0	100.0	0.0	
男	55,084,304	53,091,849	48.7	47.7	-1.0	*
女	58,010,926	58,183,030	51.3	52.3	1.0	*

ア 男女別標本構成

男女別にみると、男性は48.0%、女性は52.0%となっている。一方、母集団である個人属性別ベンチマーク人口の構成比では、男性が48.7%、女性が51.3%となっている。

社会生活基本調査の標本における男女別人口の構成比と母集団におけるそれとを比較すると、標本の構成比は、男性が0.7%ポイント低く、女性が0.7%ポイント高くなっている。すなわち、男性の標本が少なく、その分女性の標本が多くなっている。

イ 男女、曜日別標本構成

男女別に生活時間の調査日の曜日（以後、特にことわりのない場合、「曜日」とは、「平日」、「土曜日」、「日曜日」をさす。）ごとに標本の構成比と母集団におけるそれとを比較すると、男性については、調査日が平日の標本は、男性が0.7%ポイント、土曜日の標本は0.9%ポイント、日曜日の標本は1.0%ポイントそれぞれ母集団より低く、女性はその分高くなっている。

以上のように、どの曜日も女性の標本が若干多くなっているが、その度合いは平日、土曜日、日曜日の順に大きくなっている。

(3) 男女、年齢階級別標本構成

ここでは、調査・集計されたすべての標本について年齢5歳階級ごとの線形推定値の構成比を男女別に算出し、母集団（個人属性別ベンチマーク人口）における構成比と比較（標本－母集団）する。（第5表）

ア 年齢階級別標本構成

年齢階級別人口について標本の構成比を母集団のそれと比較すると、10歳台後半～30歳台で標本構成比が低く、それ以外の年齢階級では高くなっている。

標本における構成比が母集団のそれよりも低い10歳台後半～30歳台の中でも、特に20歳台～30歳台前半で差が大きく、20～24歳では－0.9%ポイント、25歳～29歳では－0.8%ポイント、30～34歳では－0.7%ポイントとなっている。一方、母集団よりも標本の構成比が高い10～14歳及び40歳台以上の年齢階級の中でも、特に60歳台で差が大きく、＋0.5～0.6%ポイントとなっている。

以上のように、青年層の標本が若干少なく、高齢者層の標本が多くなっている。

イ 男女、年齢階級別標本構成

男女別にみると、男女とも 10 歳台後半～30 歳台の標本が少なく、それ以外の年齢階級の標本が多くなっており、これは男女計における傾向と一致する。

その内容を詳しくみると、次のとおりである。

男性は、10 歳台後半～30 歳台の構成比が母集団のそれよりも低くなっているが、中でも、20～24 歳で－0.8%ポイント、25～29 歳で－1.0%ポイント、30～34 歳で－1.1%ポイントと、20 歳台～30 歳台前半で全体的に標本が少なくなっている。一方、女性は 20～24 歳が－1.0%ポイントと最も少なく、25～29 歳は－0.7%ポイント、30～34 歳は－0.4%ポイントと、年齢が高くなるにしたがって、母集団との構成比の差が縮小している。

一方、構成比が母集団のそれよりも高い年齢階級をみると、男性は 60 歳台以上で差が大きく、60 歳台で＋0.7%ポイント、70 歳台以上で＋0.4～0.6%ポイントとなっている。一方、女性は 65～69 歳で＋0.5%ポイントと、最も差が大きくなっているものの、その他は幅広い年齢層に分散して構成比が母集団よりも高くなっている。

なお、45～49 歳では、男性は母集団における構成比と差がないのに対し、女性は＋0.3%ポイントとなっており、性別により傾向が若干異なる年齢階級もみられる。

ウ 曜日、年齢階級別標本構成

曜日別にみると、どの曜日もおおむね 20 歳台～30 歳台の標本の構成比が低く、それ以外の年齢階級の構成比がおおむね高くなっている。

その内容を詳しくみると、次のとおりである。

20～24 歳では、平日は－1.0%ポイント、土曜日、日曜日は－0.7%ポイントと、平日で最も差が大きく、標本が少なくなっている。一方、25～29 歳では、平日は－0.7%ポイント、土曜日、日曜日は－1.2%ポイントと、土曜日、日曜日で差が大きく、20～24 歳とは逆の傾向を示している。

また、50～54 歳をみると、平日では＋0.2%ポイント、土曜日は＋0.5%ポイント、日曜日は＋0.4%ポイントと、土曜日、日曜日でより一層標本が多くなっている。

エ 男女、曜日、年齢階級別標本構成

男女、曜日別にみると、男女とも、どの曜日もおおむね 20 歳台～30 歳台の標本の構成比が低く、それ以外の年齢階級で標本の構成比がおおむね高くなっている。

男女別の内容を詳しくみると、次のとおりである。

男性についてみると、25～29 歳では、平日は－0.8%ポイント、土曜日は－1.5%ポイント、日曜日は－1.4%ポイントと、土曜日、日曜日で特に標本が少なくなっている。また、30～34 歳では、すべての曜日で－1.0～－1.1%ポイントと、曜日にかかわらず少なくなっている。

一方、構成比が高くなっている年齢階級のうち、50～54 歳では、平日は＋0.1%ポイントとあまり差がないが、土曜日は＋0.6%ポイント、日曜日は＋0.4%ポイントと、土曜日、日曜日で標本が多くなっている。また、55～59 歳でも同様の傾向を示している。一方、60～64 歳では、50 歳台とは逆に、土曜日、日曜日よりも平日で差が大きい。

第5表 男女、年齢5歳階級、曜日別人口の構成比 - 母集団と標本の比較

	個人属性別ベンチマーク人口	人口				ベンチマーク人口構成比①	構成比と検定											
		社会生活基本調査の標本					社会生活基本調査の標本											
		週全体	平日	土曜日	日曜日		週全体			平日			土曜日			日曜日		
							構成比②	②-①	有意性	構成比③	③-①	有意性	構成比④	④-①	有意性	構成比⑤	⑤-①	有意性
総数	113,095,230	110,714,845	110,480,302	111,327,529	111,274,879	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
10～14歳	6,364,377	6,336,012	6,340,807	6,241,990	6,406,060	5.6	5.7	0.1	*	5.7	0.1	*	5.6	0.0	*	5.8	0.1	*
15～19歳	7,317,042	7,039,935	6,940,194	7,399,185	7,179,390	6.5	6.4	-0.1	*	6.3	-0.2	*	6.6	0.2	*	6.5	0.0	*
20～24歳	8,139,812	6,964,162	6,854,413	7,245,999	7,231,074	7.2	6.3	-0.9	*	6.2	-1.0	*	6.5	-0.7	*	6.5	-0.7	*
25～29歳	9,635,217	8,496,260	8,634,327	8,127,319	8,174,865	8.5	7.7	-0.8	*	7.8	-0.7	*	7.3	-1.2	*	7.3	-1.2	*
30～34歳	9,264,404	8,270,252	8,243,561	8,260,360	8,413,596	8.2	7.5	-0.7	*	7.5	-0.7	*	7.4	-0.8	*	7.6	-0.6	*
35～39歳	7,954,237	7,604,040	7,635,210	7,469,716	7,582,519	7.0	6.9	-0.2	*	6.9	-0.1	*	6.7	-0.3	*	6.8	-0.2	*
40～44歳	7,694,769	7,932,412	7,960,100	7,830,309	7,896,075	6.8	7.2	0.4	*	7.2	0.4	*	7.0	0.2	*	7.1	0.3	*
45～49歳	8,439,025	8,387,048	8,356,536	8,493,052	8,433,605	7.5	7.6	0.1	*	7.6	0.1	*	7.6	0.2	*	7.6	0.1	*
50～54歳	10,886,317	10,961,532	10,868,896	11,284,366	11,101,879	9.6	9.9	0.3	*	9.8	0.2	*	10.1	0.5	*	10.0	0.4	*
55～59歳	8,208,934	8,270,056	8,266,008	8,288,848	8,271,509	7.3	7.5	0.2	*	7.5	0.2	*	7.4	0.2	*	7.4	0.2	*
60～64歳	7,780,729	8,173,690	8,139,737	8,267,566	8,249,576	6.9	7.4	0.5	*	7.4	0.5	*	7.4	0.5	*	7.4	0.5	*
65～69歳	7,117,116	7,630,339	7,621,535	7,678,939	7,625,758	6.3	6.9	0.6	*	6.9	0.6	*	6.9	0.6	*	6.9	0.6	*
70～74歳	5,869,947	6,198,308	6,229,915	6,145,706	6,092,874	5.2	5.6	0.4	*	5.6	0.4	*	5.5	0.3	*	5.5	0.3	*
75歳以上	8,423,304	8,450,798	8,389,063	8,594,174	8,616,098	7.4	7.6	0.2	*	7.6	0.1	*	7.7	0.3	*	7.7	0.3	*
男	55,084,304	53,099,940	53,081,461	53,200,425	53,091,849	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
10～14歳	3,259,178	3,204,409	3,207,374	3,154,975	3,239,023	5.9	6.0	0.1	*	6.0	0.1	*	5.9	0.0	*	6.1	0.2	*
15～19歳	3,742,769	3,535,733	3,516,494	3,644,897	3,522,762	6.8	6.7	-0.1	*	6.6	-0.2	*	6.9	0.1	*	6.6	-0.2	*
20～24歳	4,146,730	3,587,482	3,538,797	3,709,789	3,708,599	7.5	6.8	-0.8	*	6.7	-0.9	*	7.0	-0.6	*	7.0	-0.5	*
25～29歳	4,869,280	4,172,387	4,271,564	3,903,322	3,945,563	8.8	7.9	-1.0	*	8.0	-0.8	*	7.3	-1.5	*	7.4	-1.4	*
30～34歳	4,668,154	3,921,610	3,909,647	3,924,831	3,978,203	8.5	7.4	-1.1	*	7.4	-1.1	*	7.4	-1.1	*	7.5	-1.0	*
35～39歳	4,002,709	3,684,965	3,699,577	3,646,316	3,650,551	7.3	6.9	-0.3	*	7.0	-0.3	*	6.9	-0.4	*	6.9	-0.4	*
40～44歳	3,862,170	3,885,854	3,901,284	3,819,383	3,875,176	7.0	7.3	0.3	*	7.3	0.3	*	7.2	0.2	*	7.3	0.3	*
45～49歳	4,215,002	4,046,524	4,055,659	4,049,659	3,997,715	7.7	7.6	0.0	*	7.6	0.0	*	7.6	0.0	*	7.5	-0.1	*
50～54歳	5,407,864	5,342,370	5,278,157	5,555,178	5,450,625	9.8	10.1	0.2	*	9.9	0.1	*	10.4	0.6	*	10.3	0.4	*
55～59歳	4,013,269	4,038,007	4,022,244	4,083,964	4,070,865	7.3	7.6	0.3	*	7.6	0.3	*	7.7	0.4	*	7.7	0.4	*
60～64歳	3,751,264	3,973,597	4,008,849	3,918,158	3,852,771	6.8	7.5	0.7	*	7.6	0.7	*	7.4	0.6	*	7.3	0.4	*
65～69歳	3,350,414	3,601,086	3,594,734	3,603,433	3,630,499	6.1	6.8	0.7	*	6.8	0.7	*	6.8	0.7	*	6.8	0.8	*
70～74歳	2,661,256	2,869,642	2,872,397	2,881,448	2,844,057	4.8	5.4	0.6	*	5.4	0.6	*	5.4	0.6	*	5.4	0.5	*
75歳以上	3,134,245	3,236,275	3,204,683	3,305,075	3,325,440	5.7	6.1	0.4	*	6.0	0.3	*	6.2	0.5	*	6.3	0.6	*
女	58,010,926	57,614,906	57,398,841	58,127,103	58,183,030	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
10～14歳	3,105,199	3,131,603	3,133,434	3,087,015	3,167,037	5.4	5.4	0.1	*	5.5	0.1	*	5.3	0.0	*	5.4	0.1	*
15～19歳	3,574,273	3,504,202	3,423,700	3,754,288	3,656,629	6.2	6.1	-0.1	*	6.0	-0.2	*	6.5	0.3	*	6.3	0.1	*
20～24歳	3,993,082	3,376,681	3,315,616	3,536,211	3,522,475	6.9	5.9	-1.0	*	5.8	-1.1	*	6.1	-0.8	*	6.1	-0.8	*
25～29歳	4,765,937	4,323,873	4,362,763	4,223,997	4,229,302	8.2	7.5	-0.7	*	7.6	-0.6	*	7.3	-0.9	*	7.3	-0.9	*
30～34歳	4,596,250	4,348,642	4,333,914	4,335,529	4,435,393	7.9	7.5	-0.4	*	7.6	-0.4	*	7.5	-0.5	*	7.6	-0.3	*
35～39歳	3,951,528	3,919,076	3,935,632	3,823,400	3,931,968	6.8	6.8	0.0	*	6.9	0.0	*	6.6	-0.2	*	6.8	-0.1	*
40～44歳	3,832,599	4,046,558	4,058,816	4,010,927	4,020,899	6.6	7.0	0.4	*	7.1	0.5	*	6.9	0.3	*	6.9	0.3	*
45～49歳	4,224,023	4,340,524	4,300,877	4,443,393	4,435,891	7.3	7.5	0.3	*	7.5	0.2	*	7.6	0.4	*	7.6	0.3	*
50～54歳	5,478,453	5,619,162	5,590,738	5,729,188	5,651,254	9.4	9.8	0.3	*	9.7	0.3	*	9.9	0.4	*	9.7	0.3	*
55～59歳	4,195,665	4,232,049	4,243,763	4,204,884	4,200,644	7.2	7.3	0.1	*	7.4	0.2	*	7.2	0.0	*	7.2	0.0	*
60～64歳	4,029,465	4,200,093	4,130,888	4,349,408	4,396,805	6.9	7.3	0.3	*	7.2	0.3	*	7.5	0.5	*	7.6	0.6	*
65～69歳	3,766,702	4,029,253	4,026,801	4,075,506	3,995,259	6.5	7.0	0.5	*	7.0	0.5	*	7.0	0.5	*	6.9	0.4	*
70～74歳	3,208,691	3,328,667	3,357,518	3,264,258	3,248,817	5.5	5.8	0.2	*	5.8	0.3	*	5.6	0.1	*	5.6	0.1	*
75歳以上	5,289,059	5,214,523	5,184,381	5,289,099	5,290,659	9.1	9.1	-0.1	*	9.0	-0.1	*	9.1	0.0	*	9.1	0.0	*

女性についてみると、15～19 歳では、平日は－0.2%ポイント、土曜日は＋0.3%ポイント、日曜日は＋0.1%ポイントと、平日で標本が少なく、日曜日では多くなっている。

20～24 歳では、どの曜日も標本が少なくなっているが、特に平日（－1.1%ポイント）が、土曜日、日曜日（－0.8%ポイント）に比べて差が大きくなっている。また、25～29 歳においても、どの曜日も標本が少なくなっているが、平日で－0.6%ポイント、土曜日、日曜日で－0.9%ポイントと、男性と比較して差が小さくなっている。

一方、35～39 歳では、平日では母集団と差がみられないのに対し、土曜日では－0.2%ポイント（日曜日では有意性はないが－0.1%ポイント）と標本が少なくなっている。

(4) 男女、配偶関係別標本構成

ここでは、すべての標本について男女、配偶関係別の人口の線形推定値の構成比と、母集団における構成比とを比較（標本－母集団）する。（第6表）

先に述べたように、平成 13 年社会生活基本調査のベンチマーク人口は、男女、年齢階級別ベンチマーク人口と世帯属性別ベンチマーク人口のみであるため、配偶関係別に比較する際の母集団情報としては利用できない。そこで、時点に 1 年間の違いはあるものの、平成 12 年国勢調査の結果を擬似的な母集団情報として利用して以下の分析を行った。

なお、国勢調査では「死別」と「離別」を分離させて集計しているが、ここでは、社会生活基本調査の分類と合わせるために、合計して「死別・離別」として比較している。

ア 配偶関係別標本構成

平成 13 年社会生活基本調査の標本に基づく配偶関係別人口の線形推定値の構成比をみると「未婚」が 24.3%、「有配偶」が 64.8%、「死別・離別」が 10.8%、「不詳」が 0.1%となっている。これを平成 12 年国勢調査結果の構成比と比較すると「有配偶」が＋4.1%ポイントと標本の構成比が高くなっている一方、「未婚」が－3.2%ポイント、「死別・離別」は－0.2%ポイント、「不詳」は－0.7%ポイントとなっており、「未婚」の標本から「有配偶」の標本へのシフトが顕著である。

イ 男女、配偶関係別標本構成

配偶関係別標本構成の平成 12 年国勢調査結果との差を男女別にみると、男性は、「未婚」が－4.1%ポイント、「有配偶」が＋5.3%ポイント、「死別・離別」が－0.2%ポイント、「不詳」が－0.9%ポイントとなっている。一方、女性は、「未婚」が－2.3%ポイント、「有配偶」が＋3.2%ポイント、「死別・離別」－0.3%ポイント、「不詳」が－0.5%ポイントとなっている。

このように男女とも「未婚」の標本が少なく、「有配偶」の標本が多くなっているが、特に男性において「未婚」から「有配偶」への標本のシフトが顕著である。

ウ 曜日、配偶関係別標本構成

配偶関係別標本構成の平成 12 年国勢調査結果との差を曜日別にみると、各曜日とも上記の週全体と同様の傾向を示しているが、偏りの度合いは、土曜日＜日曜日＜平日の順に大きくなっている。

また、男女別でもこれと同様の傾向がみられる。

第6表 男女、配偶関係、曜日別人口の構成比 ― 母集団と標本の比較

	人口					構成比と検定												
	H12国勢調査 結果 (一般世帯 ＋寮・寄宿 舎)	社会生活基本調査の標本				国勢調 査人口 構成比 ①	社会生活基本調査の標本											
		週全体	平日	土曜日	日曜日		週全体			平日			土曜日			日曜日		
							構成 比②	②- ①	有意 性	構成 比③	③- ①	有意 性	構成 比④	④- ①	有意 性	構成 比⑤	⑤- ①	有意 性
総数	106,557,544	104,378,833	104,139,495	105,085,539	104,868,818	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0	
未婚	29,318,092	25,362,107	25,092,776	26,216,509	25,854,361	27.5	24.3	-3.2	*	24.1	-3.4	*	24.9	-2.6	*	24.7	-2.9	*
有配偶	64,602,936	67,591,965	67,688,663	67,223,720	67,476,721	60.6	64.8	4.1	*	65.0	4.4	*	64.0	3.3	*	64.3	3.7	*
死別・離別	11,723,332	11,277,594	11,204,122	11,516,657	11,405,890	11.0	10.8	-0.2	*	10.8	-0.2	*	11.0	0.0		10.9	-0.1	
不詳	913,184	147,167	153,934	128,653	131,845	0.9	0.1	-0.7	*	0.1	-0.7	*	0.1	-0.7	*	0.1	-0.7	*
男	51,755,981	49,895,530	49,874,087	50,045,451	49,852,825	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0	
未婚	16,308,050	13,668,562	13,570,923	14,018,157	13,807,159	31.5	27.4	-4.1	*	27.2	-4.3	*	28.0	-3.5	*	27.7	-3.8	*
有配偶	32,275,328	33,737,854	33,829,893	33,476,058	33,539,452	62.4	67.6	5.3	*	67.8	5.5	*	66.9	4.5	*	67.3	4.9	*
死別・離別	2,644,703	2,438,323	2,421,472	2,501,288	2,459,609	5.1	4.9	-0.2	*	4.9	-0.3	*	5.0	-0.1		4.9	-0.2	
不詳	527,900	50,793	51,799	49,947	46,605	1.0	0.1	-0.9	*	0.1	-0.9	*	0.1	-0.9	*	0.1	-0.9	*
女	54,801,563	54,483,303	54,265,407	55,040,088	55,015,993	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0	
未婚	13,010,042	11,693,546	11,521,853	12,198,352	12,047,202	23.7	21.5	-2.3	*	21.2	-2.5	*	22.2	-1.6	*	21.9	-1.8	*
有配偶	32,327,608	33,854,112	33,858,770	33,747,662	33,937,269	59.0	62.1	3.1	*	62.4	3.4	*	61.3	2.3	*	61.7	2.7	*
死別・離別	9,078,629	8,839,271	8,782,650	9,015,368	8,946,281	16.6	16.2	-0.3	*	16.2	-0.4	*	16.4	-0.2		16.3	-0.3	
不詳	385,284	96,374	102,135	78,706	85,241	0.7	0.2	-0.5	*	0.2	-0.5	*	0.1	-0.6	*	0.2	-0.5	*

(5) 男女、職業別標本構成

ここでは、すべての標本について男女、職業別の人口の線形推定値の構成比と、母集団における構成比とを比較（標本－母集団）する。（第7表）

平成13年社会生活基本調査で使用した職業分類は、労働力調査で使用している職業分類と同じもので、おおむね日本標準職業分類の大分類にのっとっているが、一部の分類では、多少細かい分類で集計している。

職業別人口の母集団としては、便宜上、平成14年就業構造基本調査の結果による職業中分類人口を組み替えたものを用いた。これは、就業構造基本調査においては、標本数が約44万世帯と十分に多く、近似的に母集団として扱うことができるということと、社会生活基本調査と同様、有業者か否かの判断に「ふだんの就業状態」を用いているということによる（注4）。

なお、社会生活基本調査の線形推定値による就業状態別人口構成を就業構造基本調査の結果と比較すると、社会生活基本調査の線形推定値では就業構造基本調査結果よりも有業者の構成比が3.8%ポイント高く、無業者はその分低くなっている。有業者の内訳である職業分類別人口の構成比の比較の結果をみる際には、このことを念頭に置いておく必要がある。

ちなみに、社会生活基本調査と就業構造基本調査で有業者・無業者の割合に差がある理由としては、就業構造基本調査では社会生活基本調査で調査対象外となっている「病院・療養所等の入院患者」及び「社会福祉施設の入所者」を調査の対象としているということが考えられる。

ア 職業別標本構成

就業構造基本調査の結果を母集団と見立てて、その人口の構成比と比較すると、最も差が大きいのは「農林漁業作業者」で、社会生活基本調査による標本の方が1.2%ポイント構成比が高くなっている。その他の職業では、「専門的・技術的職業従事者」（+0.3%ポイント）、「管理的職業従事者」（+0.4%ポイント）、「分類不能の職業」（+0.4%ポイント）で標本が多くなっている。

「専門的・技術的職業従事者」の内訳をみると、「技術者」が+0.6%ポイントとなっているのに対し、「教員」は-0.2%ポイントとなっている。

一方、標本の方が構成比が低くなっている職業は、「事務従事者」、「販売従事者」、「保安職業・サービスの職業従事者」、「運輸・通信従事者」、「生産工程・労務作業者」で、なかでも、「生産工程・労務作業者」で-1.0%ポイントと差が大きくなっている。

「生産工程・労務作業者」の内訳を見ると、「製造・制作・機械運転及び建設作業者」が-0.8%ポイントと最も標本が少なく、また、「労務作業者」も-0.2%ポイントとなっている。

イ 男女、職業別標本構成

男女、職業別標本構成を母集団と比較すると、男性は、「専門的・技術的職業従事者」が+1.4%ポイントと標本が多く、「農林作業従事者」も+1.0%ポイントとなっている。一方、「生産工程・労務作業者」は-2.2%ポイントとなっている。このように、男性における傾向は男女計と同様となっているが、偏りが男女計よりも大きくなっている。

女性は、男性とは逆に「専門的・技術的職業従事者」が-1.3%ポイントと標本が少なく、「生産工程・労務作業者」が+1.0%ポイントと多くなっている。また、「農林漁業作業者」は+1.5%ポイントと女性でも多くなっている。一方、「事務従事者」は-1.3%ポイントで、男性の-0.2%ポイントに比べて偏りが大きくなっている。

注4 国勢調査においては、調査年の9月24日から30日までの1週間に仕事をしたかどうかによって就業者か否かを判断しており、社会生活基本調査における判断基準とは異なる。

第7表 男女、職業別人口の構成比 ― 母集団と標本の比較

	H14 就業構造 基本調査 結果	人口 社会生活基本調査の標本				就業構造 基本調査 結果構成 比①	構成比と検定 社会生活基本調査の標本											
		週全体	平日	土曜日	日曜日		週全体				平日				土曜日			
							構成比 ②	②-① 有意性	*	構成比 ③	③-① 有意性	*	構成比 ④	④-① 有意性	*	構成比 ⑤	⑤-① 有意性	*
総数	65,009,300	66,124,614	66,085,169	66,327,215	66,119,234	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
専門的・技術的職業従事者	8,997,500	9,358,399	9,407,951	9,211,146	9,257,894	13.8	14.2	0.3	*	14.2	0.4	*	13.9	0.0	*	14.0	0.2	*
技術者	2,469,600	2,891,223	2,958,644	2,668,737	2,776,605	3.8	4.4	0.6	*	4.5	0.7	*	4.0	0.2	*	4.2	0.4	*
教員	1,462,400	1,369,259	1,356,916	1,417,682	1,382,547	2.2	2.1	-0.2	*	2.1	-0.2	*	2.1	-0.1	*	2.1	-0.2	*
その他の専門的・技術的職業従事者	5,065,400	5,097,917	5,092,391	5,124,727	5,098,742	7.8	7.7	-0.1	*	7.7	-0.1	*	7.7	-0.1	*	7.7	-0.1	*
管理的職業従事者	2,046,500	2,333,377	2,322,179	2,382,705	2,340,038	3.1	3.5	0.4	*	3.5	0.4	*	3.6	0.4	*	3.5	0.4	*
事務従事者	12,750,500	12,676,666	12,681,948	12,667,140	12,659,784	19.6	19.2	-0.4	*	19.2	-0.4	*	19.1	-0.5	*	19.1	-0.5	*
販売従事者	9,375,100	9,332,117	9,311,906	9,369,557	9,395,728	14.4	14.1	-0.3	*	14.1	-0.3	*	14.1	-0.3	*	14.2	-0.2	*
保安職業、サービス職業従事者	7,311,500	7,264,296	7,177,165	7,523,366	7,440,880	11.2	11.0	-0.3	*	10.9	-0.4	*	11.3	0.1	*	11.3	0.0	*
家庭生活支援サービス職業従事者	262,900	313,691	311,223	329,880	309,842	0.4	0.5	0.1	*	0.5	0.1	*	0.5	0.1	*	0.5	0.1	*
保安職業従事者	1,034,800	846,154	853,985	800,676	852,479	1.6	1.3	-0.3	*	1.3	-0.3	*	1.2	-0.4	*	1.3	-0.3	*
その他のサービス職業従事者	6,013,900	6,104,451	6,011,957	6,392,811	6,278,559	9.3	9.2	0.0	*	9.1	-0.2	*	9.6	0.4	*	9.5	0.2	*
農林漁業作業者	2,978,000	3,836,317	3,922,476	3,641,933	3,599,906	4.6	5.8	1.2	*	5.9	1.4	*	5.5	0.9	*	5.4	0.9	*
運輸・通信従事者	2,195,000	2,069,898	2,075,449	2,034,362	2,077,678	3.4	3.1	-0.2	*	3.1	-0.2	*	3.1	-0.3	*	3.1	-0.2	*
生産工程・労務作業者	18,452,800	18,082,694	18,042,534	18,222,236	18,143,953	28.4	27.3	-1.0	*	27.3	-1.1	*	27.5	-0.9	*	27.4	-0.9	*
採掘作業者	33,700	25,684	23,025	31,839	32,823	0.1	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業者	14,794,300	14,517,220	14,523,330	14,489,508	14,514,385	22.8	22.0	-0.8	*	22.0	-0.8	*	21.8	-0.9	*	22.0	-0.8	*
労務作業者	3,624,800	3,539,790	3,496,779	3,700,889	3,596,745	5.6	5.4	-0.2	*	5.3	-0.3	*	5.6	0.0	*	5.4	-0.1	*
分類不能の職業	902,400	1,170,850	1,143,562	1,274,769	1,203,373	1.4	1.8	0.4	*	1.7	0.3	*	1.9	0.5	*	1.8	0.4	*
男	38,034,100	37,761,255	37,796,091	37,703,427	37,644,091	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
専門的・技術的職業従事者	4,849,400	5,360,456	5,392,341	5,270,082	5,291,406	12.8	14.2	1.4	*	14.3	1.5	*	14.0	1.2	*	14.1	1.3	*
技術者	2,266,700	2,692,081	2,752,113	2,482,596	2,601,408	6.0	7.1	1.2	*	7.3	1.3	*	6.6	0.6	*	6.9	1.0	*
教員	758,800	728,489	720,594	761,898	734,552	2.0	1.9	-0.1	*	1.9	-0.1	*	2.0	0.0	*	2.0	0.0	*
その他の専門的・技術的職業従事者	1,823,800	1,939,886	1,919,634	2,025,589	1,955,446	4.8	5.1	0.3	*	5.1	0.3	*	5.4	0.6	*	5.2	0.4	*
管理的職業従事者	1,820,600	2,110,320	2,084,744	2,198,016	2,150,501	4.8	5.6	0.8	*	5.5	0.7	*	5.8	1.0	*	5.7	0.9	*
事務従事者	4,911,100	4,793,024	4,833,317	4,727,357	4,657,227	12.9	12.7	-0.2	*	12.8	-0.1	*	12.5	-0.4	*	12.4	-0.5	*
販売従事者	5,847,900	5,575,314	5,622,270	5,431,160	5,484,690	15.4	14.8	-0.6	*	14.9	-0.5	*	14.4	-1.0	*	14.6	-0.8	*
保安職業、サービス職業従事者	3,147,300	2,937,765	2,897,976	3,024,020	3,050,458	8.3	7.8	-0.5	*	7.7	-0.6	*	8.0	-0.3	*	8.1	-0.2	*
家庭生活支援サービス職業従事者	11,600	19,353	20,173	18,122	16,480	0.0	0.1	0.0	*	0.1	0.0	*	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*
保安職業従事者	982,100	818,056	825,028	771,866	829,384	2.6	2.2	-0.4	*	2.2	-0.4	*	2.0	-0.5	*	2.2	-0.4	*
その他のサービス職業従事者	2,153,700	2,100,357	2,052,774	2,234,032	2,204,594	5.7	5.6	-0.1	*	5.4	-0.2	*	5.9	0.3	*	5.9	0.2	*
農林漁業作業者	1,736,300	2,115,175	2,153,681	2,030,126	2,007,696	4.6	5.6	1.0	*	5.7	1.1	*	5.4	0.8	*	5.3	0.8	*
運輸・通信従事者	2,093,300	1,949,153	1,953,985	1,922,205	1,951,943	5.5	5.2	-0.3	*	5.2	-0.3	*	5.1	-0.4	*	5.2	-0.3	*
生産工程・労務作業者	13,100,200	12,167,984	12,106,654	12,323,075	12,319,543	34.4	32.2	-2.2	*	32.0	-2.4	*	32.7	-1.8	*	32.7	-1.7	*
採掘作業者	32,900	24,503	22,140	30,125	30,700	0.1	0.1	0.0	*	0.1	0.0	*	0.1	0.0	*	0.1	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業者	11,129,700	10,419,096	10,414,642	10,391,778	10,468,688	29.3	27.6	-1.7	*	27.6	-1.7	*	27.6	-1.7	*	27.8	-1.5	*
労務作業者	1,937,500	1,724,384	1,669,873	1,901,172	1,820,155	5.1	4.6	-0.5	*	4.4	-0.7	*	5.0	-0.1	*	4.8	-0.3	*
分類不能の職業	528,000	752,063	751,123	777,386	731,437	1.4	2.0	0.6	*	2.0	0.6	*	2.1	0.7	*	1.9	0.6	*
女	26,975,300	28,363,359	28,289,078	28,623,788	28,474,333	100.0	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*	100.0	0.0	*
専門的・技術的職業従事者	4,148,100	3,997,943	4,015,610	3,941,064	3,966,488	15.4	14.1	-1.3	*	14.2	-1.2	*	13.8	-1.6	*	13.9	-1.4	*
技術者	202,900	199,142	206,531	186,141	175,196	0.8	0.7	-0.1	*	0.7	0.0	*	0.7	-0.1	*	0.6	-0.1	*
教員	703,600	640,770	636,322	655,784	647,995	2.6	2.3	-0.3	*	2.2	-0.4	*	2.3	-0.3	*	2.3	-0.3	*
その他の専門的・技術的職業従事者	3,241,700	3,158,031	3,172,757	3,099,139	3,143,296	12.0	11.1	-0.9	*	11.2	-0.8	*	10.8	-1.2	*	11.0	-1.0	*
管理的職業従事者	225,900	223,058	237,435	184,689	189,537	0.8	0.8	-0.1	*	0.8	0.0	*	0.6	-0.2	*	0.7	-0.2	*
事務従事者	7,839,300	7,883,642	7,848,631	7,939,783	8,002,557	29.1	27.8	-1.3	*	27.7	-1.3	*	27.7	-1.3	*	28.1	-1.0	*
販売従事者	3,527,200	3,756,803	3,689,637	3,938,397	3,911,038	13.1	13.2	0.2	*	13.0	0.0	*	13.8	0.7	*	13.7	0.7	*
保安職業、サービス職業従事者	4,164,200	4,326,531	4,279,190	4,499,346	4,390,421	15.4	15.3	-0.2	*	15.1	-0.3	*	15.7	0.3	*	15.4	0.0	*
家庭生活支援サービス職業従事者	251,200	294,338	291,050	311,757	293,362	0.9	1.0	0.1	*	1.0	0.1	*	1.1	0.2	*	1.0	0.1	*
保安職業従事者	52,700	28,099	28,958	28,810	23,094	0.2	0.1	-0.1	*	0.1	-0.1	*	0.1	-0.1	*	0.1	-0.1	*
その他のサービス職業従事者	3,860,400	4,004,094	3,959,183	4,158,780	4,073,965	14.3	14.1	-0.2	*	14.0	-0.3	*	14.5	0.2	*	14.3	0.0	*
農林漁業作業者	1,241,700	1,721,142	1,768,795	1,611,807	1,592,210	4.6	6.1	1.5	*	6.3	1.6	*	5.6	1.0	*	5.6	1.0	*
運輸・通信従事者	101,700	120,744	121,463	112,156	125,735	0.4	0.4	0.0	*	0.4	0.1	*	0.4	0.0	*	0.4	0.1	*
生産工程・労務作業者	5,352,600	5,914,710	5,935,880	5,899,162	5,824,411	19.8	20.9	1.0	*	21.0	1.1	*	20.6	0.8	*	20.5	0.6	*
採掘作業者	800	1,180	885	1,714	2,123	0.0	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業者	3,664,700	4,098,124	4,108,688	4,097,731	4,045,697	13.6	14.4	0.9	*	14.5	0.9	*	14.3	0.7	*	14.2	0.6	*
労務作業者	1,687,300	1,815,406	1,826,307	1,799,717	1,776,590	6.3	6.4	0.1	*	6.5	0.2	*	6.3	0.0	*	6.2	0.0	*
分類不能の職業	374,500	418,787	392,438	497,384	471,935	1.4	1.5	0.1	*	1.4	0.0	*	1.7	0.3	*	1.7	0.3	*

ウ 曜日、職業別標本構成

曜日別に職業別標本構成を母集団と比較すると、おおむね週全体の状況と同様の傾向を示している。

標本構成と母集団構成との差を比較した場合に、曜日別の傾向に相違が認められるのは、「保安職業、サービス職業従事者」及びその内訳の一つである「その他のサービス職業従事者」である。このうち前者は、平日は標本構成比の方が母集団構成比よりも低くなっているが、土曜日と日曜日は、母集団における構成比とほぼ等しくなっている。

エ 男女、曜日、職業別標本構成

男女、曜日別に週全体との相違をみると、男性は、「その他のサービス職業従事者」において、週全体と曜日別の傾向に相違がみられる。すなわち、週全体と日曜日は、標本構成比と母集団構成比とにあまり差はないが、平日は標本構成比が低く、土曜日は逆に高くなっている。

女性については、「販売従事者」において、土曜日及び日曜日では標本構成比の方が母集団構成比よりも高くなっているが、週全体及び平日では標本構成比と母集団構成比とに差はみられない。

(6) 家族類型別標本構成

社会生活基本調査では、世帯における親、夫、妻、子供に着目した集計を行うため、世帯内で最も若い夫婦を基準にした家族類型による世帯の分類を行っている。世帯の家族類型は以下の10区分である。すなわち、「夫婦のみの世帯」、「夫婦と子供の世帯」、「夫婦と両親の世帯」、「夫婦とひとり親の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」、「夫婦、子供とひとり親の世帯」、「高齢者夫婦世帯」、「父子世帯」、「母子世帯」及び「単身者世帯」である。

ここでは、家族類型別の人口の線形推定値の構成比と、母集団における構成比とを比較（標本－母集団）する（第8表）。より具体的には、上記のうち、「高齢者夫婦世帯」^{（注5）}を除く世帯について、「親」、「夫」、「妻」、「子供」など30区分の世帯属性別・続柄別に線形推定値を算出し、その構成比を求め、母集団と比較する。なお、算出に当たっては、「夫婦と両親の世帯」及び「夫婦とひとり親の世帯」について、「夫の親」か「妻の親」かによってさらに区分している。また、上記家族類型に該当しない世帯の標本については、ここでの分析からは除外している。

ここでの分析を行う際の母集団情報としては、平成13年社会生活基本調査の世帯属性別ベンチマーク人口を用いた。

ア 家族類型別標本構成

家族類型別に母集団と比較して、標本の構成比のプラス幅が最も大きいのは「夫婦のみの世帯」で、「夫」が+1.3%ポイント、「妻」が+1.4%ポイントとなっている。

一方、マイナス幅が最も大きいのは「単身世帯」で、-1.5%ポイントである。また、「夫婦と子供の世帯」も、「夫」が-0.2%ポイント、「妻」が-0.1%ポイント、「子供」が-0.8%ポイントとなっており、特に子供の構成比が母集団と比較して低くなっている。

「子供」についてみると、「夫婦と子供の世帯」以外でも、「夫婦、子供と両親の世帯」、「夫婦、子供とひとり親の世帯」でも標本における構成比が母集団よりも低くなっている。なお、ここでいう「子供」とは、あくまで世帯内で一番若い夫婦の子供であり、年齢にはかかわらない^{（注6）}。

イ 曜日、家族類型別標本構成

曜日別にみると、母集団からの偏りの大きい「夫婦のみの世帯」及び「単身世帯」では、土曜日<平日≤日曜日の順に偏りの度合いが大きくなっている。

また、「夫婦、子供と両親の世帯」の子供は、平日では母集団における構成比とほぼ等しいが、土曜日、日曜日では-0.2%ポイントと標本の構成比が低くなっている。

注5 「高齢者夫婦世帯」は、「夫婦のみの世帯」に含まれる。

6 「母子世帯」、「父子世帯」における「子供」は、20歳未満の者としている。

第8表 世帯属性、曜日別人口の構成比 — 母集団と標本の比較

	社会調査世帯 属性別ベン チマーク 人口	人口 社会生活基本調査の標本				ベンチ マーク 人口構 成比①	構成比と検定 社会生活基本調査の標本											
							週全体				平日				土曜日			
							構成 比②	②-①	有意 性	構成 比③	③-①	有意 性	構成 比④	④-①	有意 性	構成 比⑤	⑤-①	有意 性
総数（その他の世帯を除く）	98,744,243	96,830,093	96,740,358	97,023,727	97,085,135	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0	
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	10,199,071	10,198,959	10,133,571	10,265,130	9.2	10.5	1.3	*	10.5	1.3	*	10.4	1.2	*	10.6	1.4	*
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	10,240,934	10,233,183	10,197,289	10,323,331	9.2	10.6	1.4	*	10.6	1.4	*	10.5	1.3	*	10.6	1.4	*
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	14,454,323	14,448,605	14,387,318	14,549,918	15.1	14.9	-0.2	*	14.9	-0.2		14.8	-0.3	*	15.0	-0.1	
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	14,501,581	14,489,785	14,426,629	14,635,509	15.1	15.0	-0.1		15.0	-0.1		14.9	-0.2		15.1	0.0	
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	15,360,370	15,219,110	15,668,896	15,758,143	16.7	15.9	-0.8	*	15.7	-0.9	*	16.1	-0.5	*	16.2	-0.4	*
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	219,872	226,280	203,502	204,207	0.2	0.2	0.0	*	0.2	0.0	*	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	222,870	228,982	205,689	209,487	0.2	0.2	0.0	*	0.2	0.0	*	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	437,581	448,443	412,238	408,614	0.4	0.5	0.0	*	0.5	0.1	*	0.4	0.0		0.4	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	38,856	40,127	30,910	40,445	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	39,520	40,127	35,558	40,445	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	77,225	78,138	71,115	78,774	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0		0.1	0.0		0.1	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	538,256	535,200	546,357	545,437	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	542,279	540,645	546,697	546,031	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	535,760	533,950	541,980	538,588	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	148,321	145,291	157,740	154,052	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	148,673	145,585	157,740	155,041	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	148,491	145,185	158,746	154,768	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,438,788	1,470,071	1,371,343	1,349,813	1.4	1.5	0.1	*	1.5	0.1	*	1.4	0.0		1.4	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,436,959	1,467,161	1,370,502	1,352,406	1.4	1.5	0.1	*	1.5	0.1	*	1.4	0.0		1.4	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,702,547	1,743,247	1,613,109	1,588,487	1.8	1.8	-0.1	*	1.8	0.0		1.7	-0.2	*	1.6	-0.2	*
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,877,750	2,945,548	2,726,048	2,690,465	2.8	3.0	0.2	*	3.0	0.2	*	2.8	0.0		2.8	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,971,215	1,957,506	2,041,193	1,969,781	2.1	2.0	0.0		2.0	0.0		2.1	0.0		2.0	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,966,253	1,951,699	2,040,157	1,965,119	2.1	2.0	0.0		2.0	0.0		2.1	0.0		2.0	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,714,121	2,699,055	2,813,290	2,690,279	3.0	2.8	-0.2	*	2.8	-0.2	*	2.9	-0.1		2.8	-0.2	*
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,957,945	1,943,153	2,025,673	1,964,180	2.1	2.0	0.0		2.0	-0.1		2.1	0.0		2.0	0.0	
父子世帯：父	87,248	89,167	95,829	69,217	75,806	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0		0.1	0.0		0.1	0.0	
父子世帯：子供	102,589	98,691	107,163	74,222	80,802	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0		0.1	0.0	*	0.1	0.0	*
母子世帯：母	647,366	560,216	548,280	575,655	604,458	0.7	0.6	-0.1	*	0.6	-0.1	*	0.6	-0.1	*	0.6	0.0	
母子世帯：子供	688,468	553,197	530,149	609,757	611,873	0.7	0.6	-0.1	*	0.5	-0.1	*	0.6	-0.1	*	0.6	-0.1	*
単身世帯	13,275,314	11,609,265	11,583,904	11,811,586	11,533,747	13.4	12.0	-1.5	*	12.0	-1.5	*	12.2	-1.3	*	11.9	-1.6	*

(7) まとめ

標本における人口の構成比と、母集団におけるそれとを比較した結果をまとめると、次のようになる。

男女別にみると、男性の標本が少なく、女性の標本が多い。男女、曜日別にみると、平日よりも、土曜日、日曜日の方が女性への偏りが大きい。

年齢階級別に見ると、10 歳台後半～30 歳台の標本が少なく、60 歳台以上の高齢層の標本が多い。このうち、男性では、20 歳台後半～30 歳台前半の標本が最も少なく、60 歳台以上の標本が多い。また、女性では、20 歳台前半の標本が最も少なく、40 歳台以上の幅広い年代で標本が多い。曜日、年齢階級別にみると、曜日により偏り方が若干異なり、20～24 歳は、土曜日、日曜日よりも平日で標本が少ないが、25～29 歳では逆に土曜日、日曜日の方が、標本が少ない。

配偶関係別にみると、「未婚」、「死別・離別」の標本が少なく、「有配偶」が多い。また、男性の方が、「有配偶」への偏りが大きい。曜日、配偶関係別にみると、平日は土曜日、日曜日よりも偏りが大きい。

職業別にみると、「農林漁業作業員」の標本が特に多く、「生産工程・労務作業員」が特に少ない。男女、職業別にみると、「農林漁業作業員」の標本は男女とも多くなっている。この外では、男性は「専門的・技術的職業従事者」の標本が多く、「生産工程・労務作業員」が少ない。女性は逆に「専門的・技術的職業従事者」の標本が少なく、「生産工程・労務作業員」が多い。また、女性の「事務従事者」の標本が少ない。

家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」の標本が多く、「単身世帯」が少ない。曜日別にみると偏りの大きさは土曜日<平日≤日曜日の順に大きくなっている。

3 当初標本と代替標本の比較

(1) 分析の方法

平成 13 年社会生活基本調査では、各々の調査区から 12 世帯を標本として抽出して調査を行っているが、やむを得ない事情により調査を行うことができない世帯があった場合には、標本数の減少を防ぎ結果精度を確保するため、標本世帯の追加抽出を行い、代替標本世帯をとっている。

当初標本（当初抽出）世帯及び代替標本（追加抽出）世帯のどちらについても、調査への協力が得られなかった標本については、その属性などの把握ができないため、ここでは、調査への協力が得られた標本のみについて、調査票 A の生活時間関係のデータを用いて、当初標本と代替標本の比較分析を行った。分析を行うに当たって留意した点は、次のとおりである。すなわち、当初標本と代替標本を合わせると全標本になるため、たとえ全標本でみてそれが母集団の正しい縮図となっている（偏りが無い）場合でも、当初標本と代替標本における各種属性別人口の構成比は、母集団のそれとは当然異なってくる場合がある。ここで特に問題となるのは、ある属性について、当初標本と代替標本とが両方とも同じ方向（母集団における構成比より高い又は低い）に偏っていて、しかも代替標本の偏りの方が大きい場合である。したがって、ここでは、このようなことが起きているかどうか、起きている場合にはどのような属性で起きているかを中心に分析を行った。

なお、当初標本と代替標本との識別には、データの中の世帯番号を用いた。標本世帯には、原則として、抽出された順番に 1 から番号が付与（これを「世帯番号」という。）されているので、世帯番号が 12 までの世帯から得られた標本を当初標本、世帯番号が 13 以降の世帯から得られた標本を代替標本として集計・分析を行った。また、生活時間関係の調査において、調査の指定日と異なる日が実際に調査されてしまった場合は、生活時間の調査日ごとに世帯を世帯員単位で分割し、一定の規則に基づいて、その調査日と一致する指定日の他の調査区に世帯番号 41 からの番号を付与して標本を移動させている。これらの標本については、当初抽出世帯の標本であっても、当初予定された調査日で調査をしていないという意味において、本来の当初抽出世帯の標本と同様とは考えにくいので、ここでは、代替標本世帯として取り

扱った^(注7)。

(2) 男女別標本構成

まず、当初標本と代替標本の線形推定値による男女別人口構成を比較し、母集団のそれとどの程度異なっているかを比較する。

ア 男女別標本構成

男女別に全標本に占める当初標本の割合をみると、男性は86.5%、女性は85.9%と、男性の方が当初標本の割合が大きくなっている。

当初標本と代替標本における男女別の構成比を比較すると（第9表）、当初標本は、男性が48.1%、女性が51.9%で、母集団（個人属性別ベンチマーク人口）における構成比と比較して、それぞれ-0.6%ポイント及び+0.6%ポイントとなっている。代替標本は、男性が47.0%、女性が53.0%で、母集団と比較して、それぞれ-1.7%ポイント及び+1.7%ポイントとなっている。

以上のように、当初標本、代替標本ともに母集団と比較して男性の構成比が低く、女性が高いが、女性への偏りの度合いは代替標本の方が大きくなっている。

第9表 曜日、男女別人口の構成比 - 当初標本と代替標本の比較

	社会調個人属性別ベンチマーク人口	人口		構成比						
		当初標本	代替標本	ベンチマーク人口構成比①	当初標本		代替標本		③-②	③-① - (②-①) 絶対値
					構成比②	②-①	構成比③	③-①		
週全体	113,095,230	95,420,794	15,294,051	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
男	55,084,304	45,907,367	7,192,573	48.7	48.1	-0.6	47.0	-1.7	-1.1	1.1
女	58,010,926	49,513,427	8,101,478	51.3	51.9	0.6	53.0	1.7	1.1	1.1
平日	113,095,230	95,252,943	15,227,359	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
男	55,084,304	45,941,660	7,139,801	48.7	48.2	-0.5	46.9	-1.8	-1.3	1.3
女	58,010,926	49,311,283	8,087,559	51.3	51.8	0.5	53.1	1.8	1.3	1.3
土曜日	113,095,230	95,990,228	15,337,301	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
男	55,084,304	45,899,541	7,300,884	48.7	47.8	-0.9	47.6	-1.1	-0.2	0.2
女	58,010,926	50,090,687	8,036,417	51.3	52.2	0.9	52.4	1.1	0.2	0.2
日曜日	113,095,230	95,690,618	15,584,261	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
男	55,084,304	45,743,726	7,348,123	48.7	47.8	-0.9	47.2	-1.6	-0.7	0.7
女	58,010,926	49,946,892	8,236,138	51.3	52.2	0.9	52.8	1.6	0.7	0.7

イ 男女、曜日別標本構成

曜日別にみると、当初標本も代替標本も、上で述べた週全体と同様に、どの曜日でも男性の構成比が低く、その分女性の構成比が高い。また、当初標本よりも代替標本の方が、女性への偏りが大きくなっている。

当初標本では、平日で偏りが最も小さく0.5%ポイント母集団における構成比と異なっている。また、土曜日及び日曜日で0.9%ポイントとなっている。一方、代替標本では、平日で1.8%ポイントと偏りが最も大きく、土曜日で1.1%ポイントと偏りが最も小さい。日曜日は、平日と土曜日の中間で、1.6%ポイント母集団と異なっている。

したがって、当初標本と代替標本の構成比の違い（代替標本の構成比－当初標本の構成比）は、平日で1.3%ポイントと最も大きく、土曜日では0.2%ポイントと比較的違いが小さい。日曜日は、その中間で、0.7%ポイントとなっている。つまり、代替標本をとること

注7 生活時間の調査日誤りの処理件数（標本数）は2,097件（男性は1,011、女性は1,086。）。このうち、本来は当初標本であるが、調査日誤りの処理により代替標本に数えられている標本数は1,903（男性は911、女性は992）、本来から代替標本である標本数は194（男性は100、女性は94）である。

により、女性への偏りがより一層大きくなっているが、これは平日の標本において最も顕著である。

(3) 男女、年齢階級別標本構成

ここでは、当初標本と代替標本とにおける年齢階級別人口の構成比を母集団と比較する。
(第 10 表)

ア 年齢階級別標本構成

当初標本と代替標本における年齢階級別構成比について母集団におけるそれとの違いをみると、両者とも母集団と比較して構成比が低くなっているのは、20 歳台と 30 歳台前半の年齢階級である。このうち 20 歳台後半と 30 歳台前半は、代替標本の方が当初標本よりも 0.4%ポイント偏りが大きくなっている。また、10 歳台後半では、代替標本における構成比が母集団と比較して-1.0%ポイントで、当初標本の 0.0%ポイントと比較して大きくなっている。

一方、上とは逆に、当初標本における構成比も代替標本におけるそれも、母集団と比較して高くなっているのは、40 歳台前半と 50 歳台後半以上の年齢階級である。このうち、75 歳以上を除く年齢階級では、代替標本の方が母集団よりも構成比が高くなっている。特に、60 歳台後半では、代替標本における構成比が母集団と比較して+1.6%と特に高くなっており、当初標本と比較しても+1.2%ポイントと高くなっている。

イ 男女、年齢階級別標本構成

男女別にみると、男女とも上記の男女計と同様の傾向を示しているが、以下のような特徴がみられる。

すなわち、男性では特に 10 歳台後半、30 歳台前半及び 60 歳台後半で当初標本と比較して代替標本の偏りが 1.0~1.2%ポイント大きくなっている。女性では、特に 60 歳台で 0.9~1.1%ポイント代替標本の偏りが大きくなっている。

第10表 男女、年齢5歳階級別人口の構成比 — 当初標本と代替標本の比較

	人口			構成比						
	社会調個人属 性別ベンチ マーク人口	当初標本	代替標本	ベンチ マーク 人口構 成比①	当初標本		代替標本		③- ②	(③-①) — (②-①) 絶対値
					構成 比②	②- ①	構成 比③	③- ①		
総数	113,095,230	95,420,794	15,294,051	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	6,364,377	5,506,111	829,902	5.6	5.8	0.1	5.4	-0.2	-0.3	0.1
15～19歳	7,317,042	6,209,340	830,595	6.5	6.5	0.0	5.4	-1.0	-1.1	1.0
20～24歳	8,139,812	5,953,719	1,010,444	7.2	6.2	-1.0	6.6	-0.6	0.4	-0.4
25～29歳	9,635,217	7,379,643	1,116,616	8.5	7.7	-0.8	7.3	-1.2	-0.4	0.4
30～34歳	9,264,404	7,182,342	1,087,910	8.2	7.5	-0.7	7.1	-1.1	-0.4	0.4
35～39歳	7,954,237	6,467,254	1,136,786	7.0	6.8	-0.3	7.4	0.4	0.7	0.1
40～44歳	7,694,769	6,799,562	1,132,850	6.8	7.1	0.3	7.4	0.6	0.3	0.3
45～49歳	8,439,025	7,315,240	1,071,809	7.5	7.7	0.2	7.0	-0.5	-0.7	0.2
50～54歳	10,886,317	9,511,931	1,449,600	9.6	10.0	0.3	9.5	-0.1	-0.5	-0.2
55～59歳	8,208,934	7,119,161	1,150,895	7.3	7.5	0.2	7.5	0.3	0.1	0.1
60～64歳	7,780,729	6,959,811	1,213,879	6.9	7.3	0.4	7.9	1.1	0.6	0.6
65～69歳	7,117,116	6,420,533	1,209,806	6.3	6.7	0.4	7.9	1.6	1.2	1.2
70～74歳	5,869,947	5,309,892	888,416	5.2	5.6	0.4	5.8	0.6	0.2	0.2
75歳以上	8,423,304	7,286,255	1,164,543	7.4	7.6	0.2	7.6	0.2	0.0	0.0
男	55,084,304	45,907,367	7,192,573	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	3,259,178	2,791,499	412,911	5.9	6.1	0.2	5.7	-0.2	-0.3	0.0
15～19歳	3,742,769	3,122,191	413,542	6.8	6.8	0.0	5.7	-1.0	-1.1	1.0
20～24歳	4,146,730	3,086,623	500,859	7.5	6.7	-0.8	7.0	-0.6	0.2	-0.2
25～29歳	4,869,280	3,636,854	535,533	8.8	7.9	-0.9	7.4	-1.4	-0.5	0.5
30～34歳	4,668,154	3,452,207	469,403	8.5	7.5	-1.0	6.5	-1.9	-1.0	1.0
35～39歳	4,002,709	3,160,887	524,078	7.3	6.9	-0.4	7.3	0.0	0.4	-0.4
40～44歳	3,862,170	3,329,242	556,611	7.0	7.3	0.2	7.7	0.7	0.5	0.5
45～49歳	4,215,002	3,508,617	537,908	7.7	7.6	0.0	7.5	-0.2	-0.2	0.2
50～54歳	5,407,864	4,655,472	686,898	9.8	10.1	0.3	9.6	-0.3	-0.6	-0.1
55～59歳	4,013,269	3,467,217	570,790	7.3	7.6	0.3	7.9	0.7	0.4	0.4
60～64歳	3,751,264	3,410,018	563,578	6.8	7.4	0.6	7.8	1.0	0.4	0.4
65～69歳	3,350,414	3,037,194	563,892	6.1	6.6	0.5	7.8	1.8	1.2	1.2
70～74歳	2,661,256	2,462,098	407,544	4.8	5.4	0.5	5.7	0.8	0.3	0.3
75歳以上	3,134,245	2,787,249	449,027	5.7	6.1	0.4	6.2	0.6	0.2	0.2
女	58,010,926	49,513,427	8,101,478	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	3,105,199	2,714,612	416,991	5.4	5.5	0.1	5.1	-0.2	-0.3	0.1
15～19歳	3,574,273	3,087,150	417,053	6.2	6.2	0.1	5.1	-1.0	-1.1	0.9
20～24歳	3,993,082	2,867,096	509,584	6.9	5.8	-1.1	6.3	-0.6	0.5	-0.5
25～29歳	4,765,937	3,742,790	581,083	8.2	7.6	-0.7	7.2	-1.0	-0.4	0.4
30～34歳	4,596,250	3,730,135	618,507	7.9	7.5	-0.4	7.6	-0.3	0.1	-0.1
35～39歳	3,951,528	3,306,368	612,708	6.8	6.7	-0.1	7.6	0.8	0.9	0.6
40～44歳	3,832,599	3,470,320	576,239	6.6	7.0	0.4	7.1	0.5	0.1	0.1
45～49歳	4,224,023	3,806,623	533,901	7.3	7.7	0.4	6.6	-0.7	-1.1	0.3
50～54歳	5,478,453	4,856,460	762,702	9.4	9.8	0.4	9.4	0.0	-0.4	-0.3
55～59歳	4,195,665	3,651,944	580,105	7.2	7.4	0.1	7.2	-0.1	-0.2	-0.1
60～64歳	4,029,465	3,549,792	650,301	6.9	7.2	0.2	8.0	1.1	0.9	0.9
65～69歳	3,766,702	3,383,339	645,914	6.5	6.8	0.3	8.0	1.5	1.1	1.1
70～74歳	3,208,691	2,847,794	480,873	5.5	5.8	0.2	5.9	0.4	0.2	0.2
75歳以上	5,289,059	4,499,007	715,516	9.1	9.1	0.0	8.8	-0.3	-0.3	0.3

ウ 曜日，年齢階級別標本構成

曜日，年齢階級別に当初標本と代替標本における構成比を母集団と比較すると，各曜日とも週全体と同様幾つかの年齢階級において，当初標本と代替標本の偏りの方向が同じ（母集団より構成比が高い又は低い）で，なおかつ当初標本よりも代替標本の偏りが大きくなっている。（第 11 表）

当初標本よりも代替標本の方が偏りの度合いが特に大きくなっているのは，平日の 10 歳台後半や平日，日曜日の 60 歳台後半の年齢階級である。このうち平日の 10 歳台後半は，代替標本の偏りが当初標本よりも 1.2%ポイント負の（標本の少ない）方向に差が拡大しているが，これとは逆に平日，日曜日の 60 歳台後半では代替標本の偏りが当初標本よりも 1.2%ポイント正の（標本の多い）方向に差が拡大している。

なお，男女，曜日，年齢階級別の状況についても，上記の男女計，曜日，年齢階級別の状況とおおむね同様であるので，煩雑さを避けるため，ここでは詳細については省略する。

第11表 年齢5歳階級，曜日別人口の構成比 — 当初標本と代替標本の比較

		人口			構成比						
		社会調個人属 性別ベンチ マーク人口	当初標本	代替標本	ベンチマー ク人口構成 比①	当初標本		代替標本		③- ②	(③-①) - (②-①) 絶対値
						構成 比②	②- ①	構成 比③	③- ①		
総 数	週全体	113,095,230	95,420,794	15,294,051	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	平日	113,095,230	95,252,943	15,227,359	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	土曜日	113,095,230	95,990,228	15,337,301	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	日曜日	113,095,230	95,690,618	15,584,261	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10 14 歳	週全体	6,364,377	5,506,111	829,902	5.6	5.8	0.1	5.4	-0.2	-0.3	0.1
	平日	6,364,377	5,513,271	827,536	5.6	5.8	0.2	5.4	-0.2	-0.4	0.0
	土曜日	6,364,377	5,448,722	793,268	5.6	5.7	0.0	5.2	-0.5	-0.5	0.4
	日曜日	6,364,377	5,527,697	878,363	5.6	5.8	0.1	5.6	0.0	-0.1	-0.1
15 19 歳	週全体	7,317,042	6,209,340	830,595	6.5	6.5	0.0	5.4	-1.0	-1.1	1.0
	平日	7,317,042	6,144,507	795,687	6.5	6.5	0.0	5.2	-1.2	-1.2	1.2
	土曜日	7,317,042	6,464,182	935,003	6.5	6.7	0.3	6.1	-0.4	-0.6	0.1
	日曜日	7,317,042	6,278,666	900,724	6.5	6.6	0.1	5.8	-0.7	-0.8	0.6
20 24 歳	週全体	8,139,812	5,953,719	1,010,444	7.2	6.2	-1.0	6.6	-0.6	0.4	-0.4
	平日	8,139,812	5,842,647	1,011,766	7.2	6.1	-1.1	6.6	-0.6	0.5	-0.5
	土曜日	8,139,812	6,244,015	1,001,984	7.2	6.5	-0.7	6.5	-0.7	0.0	0.0
	日曜日	8,139,812	6,218,780	1,012,293	7.2	6.5	-0.7	6.5	-0.7	0.0	0.0
25 29 歳	週全体	9,635,217	7,379,643	1,116,616	8.5	7.7	-0.8	7.3	-1.2	-0.4	0.4
	平日	9,635,217	7,493,379	1,140,948	8.5	7.9	-0.7	7.5	-1.0	-0.4	0.4
	土曜日	9,635,217	7,078,114	1,049,205	8.5	7.4	-1.1	6.8	-1.7	-0.5	0.5
	日曜日	9,635,217	7,112,496	1,062,369	8.5	7.4	-1.1	6.8	-1.7	-0.6	0.6
30 34 歳	週全体	9,264,404	7,182,342	1,087,910	8.2	7.5	-0.7	7.1	-1.1	-0.4	0.4
	平日	9,264,404	7,205,175	1,038,386	8.2	7.6	-0.6	6.8	-1.4	-0.7	0.7
	土曜日	9,264,404	7,039,453	1,220,907	8.2	7.3	-0.9	8.0	-0.2	0.6	-0.6
	日曜日	9,264,404	7,211,063	1,202,533	8.2	7.5	-0.7	7.7	-0.5	0.2	-0.2
35 39 歳	週全体	7,954,237	6,467,254	1,136,786	7.0	6.8	-0.3	7.4	0.4	0.7	0.1
	平日	7,954,237	6,463,385	1,171,825	7.0	6.8	-0.2	7.7	0.7	0.9	0.4
	土曜日	7,954,237	6,461,423	1,008,292	7.0	6.7	-0.3	6.6	-0.5	-0.2	0.2
	日曜日	7,954,237	6,492,432	1,090,086	7.0	6.8	-0.2	7.0	0.0	0.2	-0.2
40 44 歳	週全体	7,694,769	6,799,562	1,132,850	6.8	7.1	0.3	7.4	0.6	0.3	0.3
	平日	7,694,769	6,829,074	1,131,026	6.8	7.2	0.4	7.4	0.6	0.3	0.3
	土曜日	7,694,769	6,738,661	1,091,648	6.8	7.0	0.2	7.1	0.3	0.1	0.1
	日曜日	7,694,769	6,712,905	1,183,170	6.8	7.0	0.2	7.6	0.8	0.6	0.6
45 49 歳	週全体	8,439,025	7,315,240	1,071,809	7.5	7.7	0.2	7.0	-0.5	-0.7	0.2
	平日	8,439,025	7,300,443	1,056,093	7.5	7.7	0.2	6.9	-0.5	-0.7	0.3
	土曜日	8,439,025	7,379,589	1,113,463	7.5	7.7	0.2	7.3	-0.2	-0.4	0.0
	日曜日	8,439,025	7,324,873	1,108,732	7.5	7.7	0.2	7.1	-0.3	-0.5	0.2
50 54 歳	週全体	10,886,317	9,511,931	1,449,600	9.6	10.0	0.3	9.5	-0.1	-0.5	-0.2
	平日	10,886,317	9,454,704	1,414,191	9.6	9.9	0.3	9.3	-0.3	-0.6	0.0
	土曜日	10,886,317	9,741,854	1,542,512	9.6	10.1	0.5	10.1	0.4	-0.1	-0.1
	日曜日	10,886,317	9,568,143	1,533,736	9.6	10.0	0.4	9.8	0.2	-0.2	-0.2
55 59 歳	週全体	8,208,934	7,119,161	1,150,895	7.3	7.5	0.2	7.5	0.3	0.1	0.1
	平日	8,208,934	7,112,270	1,153,737	7.3	7.5	0.2	7.6	0.3	0.1	0.1
	土曜日	8,208,934	7,140,984	1,147,864	7.3	7.4	0.2	7.5	0.2	0.0	0.0
	日曜日	8,208,934	7,131,794	1,139,715	7.3	7.5	0.2	7.3	0.1	-0.1	-0.1
60 64 歳	週全体	7,780,729	6,959,811	1,213,879	6.9	7.3	0.4	7.9	1.1	0.6	0.6
	平日	7,780,729	6,914,928	1,224,810	6.9	7.3	0.4	8.0	1.2	0.8	0.8
	土曜日	7,780,729	7,091,294	1,176,272	6.9	7.4	0.5	7.7	0.8	0.3	0.3
	日曜日	7,780,729	7,052,742	1,196,833	6.9	7.4	0.5	7.7	0.8	0.3	0.3
65 69 歳	週全体	7,117,116	6,420,533	1,209,806	6.3	6.7	0.4	7.9	1.6	1.2	1.2
	平日	7,117,116	6,410,193	1,211,342	6.3	6.7	0.4	8.0	1.7	1.2	1.2
	土曜日	7,117,116	6,497,700	1,181,238	6.3	6.8	0.5	7.7	1.4	0.9	0.9
	日曜日	7,117,116	6,395,064	1,230,694	6.3	6.7	0.4	7.9	1.6	1.2	1.2
70 74 歳	週全体	5,869,947	5,309,892	888,416	5.2	5.6	0.4	5.8	0.6	0.2	0.2
	平日	5,869,947	5,358,818	871,097	5.2	5.6	0.4	5.7	0.5	0.1	0.1
	土曜日	5,869,947	5,206,057	939,649	5.2	5.4	0.2	6.1	0.9	0.7	0.7
	日曜日	5,869,947	5,169,096	923,779	5.2	5.4	0.2	5.9	0.7	0.5	0.5
75 歳 以 上	週全体	8,423,304	7,286,255	1,164,543	7.4	7.6	0.2	7.6	0.2	0.0	0.0
	平日	8,423,304	7,210,148	1,178,915	7.4	7.6	0.1	7.7	0.3	0.2	0.2
	土曜日	8,423,304	7,458,179	1,135,994	7.4	7.8	0.3	7.4	0.0	-0.4	-0.3
	日曜日	8,423,304	7,494,866	1,121,232	7.4	7.8	0.4	7.2	-0.3	-0.6	-0.1

男女、配偶関係別標本構成

ここでは、当初標本と代替標本とにおける男女、配偶関係別人口の構成比を母集団（平成12年国勢調査の結果）と比較する。（第12表）

ア 配偶関係別標本構成

配偶関係別に母集団における構成比と当初標本及び代替標本における構成比との差を比較すると、「配偶関係不詳」を除いて、当初標本よりも代替標本の方が、偏りの度合いが大きくなっている。

特に、「有配偶」では、母集団における構成比との差が当初標本で+4.0%ポイントであるのに対し、代替標本では+4.7%ポイントと、0.7%ポイント正の（標本が多い）方向に差が拡大している。一方、「未婚」では、当初標本の-3.2%ポイントに対し、代替標本が-3.6%ポイントと、負の（標本が少ない）方向に0.4%ポイント差が開いている。また、「死別・離別」は、代替標本の方が、0.3%ポイント負の方向に偏りが大きくなっている。

イ 男女、配偶関係別標本構成

男女、配偶関係別にみると、男性は上でみた男女計と同様の傾向を示しているが、女性では男女計とは異なる傾向を示している。

これを詳しくみると、男性の「未婚」では、当初標本が母集団における構成比と比較して-3.8%ポイントであるのに対し、代替標本は-6.0%ポイント、「有配偶」は、当初標本の+4.9%ポイントに対し、代替標本は+7.2%ポイントと、いずれも2.2~2.3%ポイント、代替標本の方が、偏りが大きくなっている。また、「死別・離別」では、代替標本の方が、0.3%ポイント偏りが大きくなっている。

一方、女性の「未婚」では、当初標本の-2.5%ポイントに対し、代替標本は-1.2%ポイント、「有配偶」は、当初標本の+3.2%ポイントに対し、代替標本は+2.6%ポイントと、代替標本の方が、偏りが小さくなっている。しかし、「死別・離別」では、代替標本の方が、0.6%ポイント負の方向に偏りが大きくなっている。

ウ 曜日、配偶関係別標本構成

曜日別にみると、「未婚」、「有配偶」、「死別・離別」とも、各曜日においてほぼ上記の週全体と同様の傾向を示しており、代替標本の方が当初標本より偏りが大きくなっている。

詳しくみると、「未婚」については、各曜日とも当初標本よりも代替標本の方が、標本が過少である方向への偏りが大きくなっている。そのうち土曜日で1.0%ポイントとその度合いが最も大きくなっている。

「有配偶」については「未婚」とは偏りの方向が逆（標本が多い方向）ではあるが、上と同様の傾向がみられ、土曜日において、代替標本の当初標本に対する偏りの度合いが最も大きくなっている。

「死別・離別」についても、各曜日で代替標本の偏りの度合いが大きくなっているが、最も大きいのは日曜日となっている。

第12表 男女、配偶関係、曜日別人口の構成比 — 当初標本と代替標本の比較

			人口			構成比						
			H12国勢調査 (一般世帯＋ 寮・寄宿舎)	当初標本	代替標本	国勢調査 人口構成 比①	当初標本		代替標本		③－ ②	(③－①) － (②－①) 絶対値
							構成 比②	②－ ①	構成 比③	③－ ①		
総数	総数	週全体	106,557,544	89,914,684	14,464,149	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		平日	106,557,544	89,739,672	14,399,823	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		土曜日	106,557,544	90,541,506	14,544,033	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		日曜日	106,557,544	90,162,921	14,705,897	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	週全体	29,318,092	21,898,988	3,463,119	27.5	24.4	-3.2	23.9	-3.6	-0.4	0.4
		平日	29,318,092	21,656,241	3,436,535	27.5	24.1	-3.4	23.9	-3.6	-0.3	0.3
		土曜日	29,318,092	22,710,304	3,506,204	27.5	25.1	-2.4	24.1	-3.4	-1.0	1.0
		日曜日	29,318,092	22,301,406	3,552,955	27.5	24.7	-2.8	24.2	-3.4	-0.6	0.6
	有配偶	週全体	64,602,936	58,142,957	9,449,008	60.6	64.7	4.0	65.3	4.7	0.7	0.7
		平日	64,602,936	58,276,549	9,412,114	60.6	64.9	4.3	65.4	4.7	0.4	0.4
		土曜日	64,602,936	57,754,586	9,469,134	60.6	63.8	3.2	65.1	4.5	1.3	1.3
		日曜日	64,602,936	57,863,367	9,613,354	60.6	64.2	3.5	65.4	4.7	1.2	1.2
	死別・別離	週全体	11,723,332	9,750,965	1,526,629	11.0	10.8	-0.2	10.6	-0.4	-0.3	0.3
		平日	11,723,332	9,677,070	1,527,052	11.0	10.8	-0.2	10.6	-0.4	-0.2	0.2
		土曜日	11,723,332	9,974,624	1,542,033	11.0	11.0	0.0	10.6	-0.4	-0.4	0.4
		日曜日	11,723,332	9,896,779	1,509,112	11.0	11.0	0.0	10.3	-0.7	-0.7	0.7
	不詳	週全体	913,184	121,774	25,393	0.9	0.1	-0.7	0.2	-0.7	0.0	0.0
		平日	913,184	129,811	24,123	0.9	0.1	-0.7	0.2	-0.7	0.0	0.0
		土曜日	913,184	101,992	26,661	0.9	0.1	-0.7	0.2	-0.7	0.1	-0.1
		日曜日	913,184	101,369	30,477	0.9	0.1	-0.7	0.2	-0.6	0.1	-0.1
男	総数	週全体	51,755,981	43,115,868	6,779,662	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		平日	51,755,981	43,136,171	6,737,917	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		土曜日	51,755,981	43,165,056	6,880,395	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		日曜日	51,755,981	42,965,166	6,887,659	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	週全体	16,308,050	11,941,202	1,727,360	31.5	27.7	-3.8	25.5	-6.0	-2.2	2.2
		平日	16,308,050	11,881,784	1,689,139	31.5	27.5	-4.0	25.1	-6.4	-2.5	2.5
		土曜日	16,308,050	12,174,007	1,844,150	31.5	28.2	-3.3	26.8	-4.7	-1.4	1.4
		日曜日	16,308,050	12,005,484	1,801,675	31.5	27.9	-3.6	26.2	-5.4	-1.8	1.8
	有配偶	週全体	32,275,328	29,019,342	4,718,512	62.4	67.3	4.9	69.6	7.2	2.3	2.3
		平日	32,275,328	29,124,185	4,705,708	62.4	67.5	5.2	69.8	7.5	2.3	2.3
		土曜日	32,275,328	28,750,905	4,725,153	62.4	66.6	4.2	68.7	6.3	2.1	2.1
		日曜日	32,275,328	28,763,563	4,775,889	62.4	66.9	4.6	69.3	7.0	2.4	2.4
	死別・別離	週全体	2,644,703	2,121,693	316,629	5.1	4.9	-0.2	4.7	-0.4	-0.3	0.3
		平日	2,644,703	2,096,448	325,024	5.1	4.9	-0.2	4.8	-0.3	0.0	0.0
		土曜日	2,644,703	2,203,563	297,726	5.1	5.1	0.0	4.3	-0.8	-0.8	0.8
		日曜日	2,644,703	2,166,051	293,558	5.1	5.0	-0.1	4.3	-0.8	-0.8	0.8
	不詳	週全体	527,900	33,631	17,161	1.0	0.1	-0.9	0.3	-0.8	0.2	-0.2
		平日	527,900	33,754	18,045	1.0	0.1	-0.9	0.3	-0.8	0.2	-0.2
		土曜日	527,900	36,581	13,366	1.0	0.1	-0.9	0.2	-0.8	0.1	-0.1
		日曜日	527,900	30,067	16,538	1.0	0.1	-0.9	0.2	-0.8	0.2	-0.2
女	総数	週全体	54,801,563	46,798,816	7,684,487	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		平日	54,801,563	46,603,501	7,661,906	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		土曜日	54,801,563	47,376,450	7,663,638	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		日曜日	54,801,563	47,197,754	7,818,239	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	週全体	13,010,042	9,957,786	1,735,759	23.7	21.3	-2.5	22.6	-1.2	1.3	-1.3
		平日	13,010,042	9,774,457	1,747,396	23.7	21.0	-2.8	22.8	-0.9	1.8	-1.8
		土曜日	13,010,042	10,536,297	1,662,054	23.7	22.2	-1.5	21.7	-2.1	-0.6	0.6
		日曜日	13,010,042	10,295,922	1,751,280	23.7	21.8	-1.9	22.4	-1.3	0.6	-0.6
	有配偶	週全体	32,327,608	29,123,615	4,730,496	59.0	62.2	3.2	61.6	2.6	-0.7	-0.7
		平日	32,327,608	29,152,364	4,706,406	59.0	62.6	3.6	61.4	2.4	-1.1	-1.1
		土曜日	32,327,608	29,003,681	4,743,981	59.0	61.2	2.2	61.9	2.9	0.7	0.7
		日曜日	32,327,608	29,099,804	4,837,465	59.0	61.7	2.7	61.9	2.9	0.2	0.2
	死別・別離	週全体	9,078,629	7,629,271	1,210,000	16.6	16.3	-0.3	15.7	-0.8	-0.6	0.6
		平日	9,078,629	7,580,622	1,202,027	16.6	16.3	-0.3	15.7	-0.9	-0.6	0.6
		土曜日	9,078,629	7,771,061	1,244,307	16.6	16.4	-0.2	16.2	-0.3	-0.2	0.2
		日曜日	9,078,629	7,730,727	1,215,554	16.6	16.4	-0.2	15.5	-1.0	-0.8	0.8
	不詳	週全体	385,284	88,143	8,232	0.7	0.2	-0.5	0.1	-0.6	-0.1	0.1
		平日	385,284	96,057	6,077	0.7	0.2	-0.5	0.1	-0.6	-0.1	0.1
		土曜日	385,284	65,410	13,296	0.7	0.1	-0.6	0.2	-0.5	0.0	0.0
		日曜日	385,284	71,302	13,939	0.7	0.2	-0.6	0.2	-0.5	0.0	0.0

エ 男女、曜日、配偶関係別標本構成

男女、曜日、配偶関係別にみると、男性では男女計と同様、各曜日において、「未婚」、「有配偶」の代替標本の偏りが当初標本のそれよりも1.4～2.5%ポイント大きくなっているが、女性では、そのような傾向は見られない。

男女別に詳しくみると、男性についてみると、「未婚」は、当初標本では平日で－4.0%ポイントであるのに対し、代替標本では－6.4%ポイントと、代替標本で負の（標本数が少ない）方向への偏りが大きい。「有配偶」でも当初標本に比べ、代替標本では、各曜日とも2.1～2.4%ポイント正の（標本数が多い）方向に差が大きくなっている。「死別・離別」については、当初標本では平日で母集団との差が－0.2%ポイントと最も大きいのに対し、代替標本では、平日はそれが－0.3%ポイントと当初標本とそれほど変わらないが、土曜日、日曜日は当初標本よりも0.8%ポイント負の（標本数が少ない）方向に差が大きくなっている。

女性についてみると、「未婚」は、平日と日曜日で当初標本よりも代替標本の方が1.8%ポイントないし0.6%ポイント偏りの度合いが小さくなっている。「有配偶」は、平日において当初標本よりも代替標本の方が1.1%ポイント偏りの度合いが小さくなっている。一方、土曜日、日曜日では代替標本の方が、偏りが大きくなっている。「死別・離別」については、各曜日とも当初標本よりも代替標本で偏りが大きくなっている。

(4) 男女、職業別標本構成

ここでは、当初標本と代替標本とにおける男女、職業別人口の構成比を母集団（平成14年就業構造基本調査の結果）と比較する。（第13表）

ア 職業別標本構成

職業分類別に当初標本と代替標本とにおける構成比を母集団と比較すると、当初標本、代替標本における構成比ともに母集団におけるそれよりも高く、しかも代替標本における構成比が当初標本におけるそれよりも高くなっているのは、「専門的・技術的職業従事者」、「管理的職業従事者」及び「分類不能の職業」などである。このうち、「専門的・技術的職業従事者」では、当初標本が母集団における構成比より+0.2%ポイント高くなっているのに対し、代替標本では+1.4%ポイント高く、結果として+1.2%ポイント代替標本の方の偏りが大きくなっている。

一方、当初標本も代替標本も母集団における構成比より低く、しかも代替標本の方がその度合いが大きいのは、「生産工程・労務作業者」及びその内訳である「製造・製作・機械運転及び建設作業者」や、「保安職業従事者」などである。このうち、「生産工程・労務作業者」では、当初標本が母集団における構成比より－0.6%ポイント低くなっているのに対し、代替標本では－4.1%ポイント低く、代替標本における構成比の差がかなり大きくなっている。

また、「農林漁業作業者」では、当初標本で母集団と比較して+1.5%ポイントの差があるのに対し、代替標本では－0.8%となっており、代替標本をとることが結果として良い方向に働いている。

イ 男女、職業別標本構成

男女、職業分類別にみると、男性は、上でみた男女計とほぼ同様の傾向を示しているが、男女計と異なるのは、例えば「その他の専門的・技術的職業従事者」で、当初標本も代替標本も母集団における構成比と比較して男女計よりもプラスの方向への偏りが大きくなっていることなどである。一方、女性は、全体的に当初標本よりも代替標本の偏りが大きくなっている職業分類は少なく、男性とは異なった傾向を示している。たとえば、男性では代替標本の偏りが大きくなっている「専門的・技術的職業従事者」は、女性では代替標本の偏りの方が大きいとは言えない状況となっている。

第13表 男女、職業別人口の構成比 — 当初標本と代替標本の比較

	人口			構成比						
	H14 就業構造 基本調査 結果	当初標本	代替標本	就業構 造基本 調査人 口構成 比①	当初標 本 構成 比②	②- ①	代替標 本 構成 比③	③- ①	③- ②	(③-①) — (②-①) 絶対値
総数	65,009,300	57,247,680	8,876,933	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	8,997,500	8,009,556	1,348,843	13.8	14.0	0.2	15.2	1.4	1.2	1.2
技術者	2,469,600	2,498,211	393,012	3.8	4.4	0.6	4.4	0.6	0.1	0.1
教員	1,462,400	1,141,771	227,487	2.2	2.0	-0.3	2.6	0.3	0.6	0.1
その他の専門的・技術的職業従事者	5,065,400	4,369,574	728,343	7.8	7.6	-0.2	8.2	0.4	0.6	0.3
管理的職業従事者	2,046,500	1,981,036	352,342	3.1	3.5	0.3	4.0	0.8	0.5	0.5
事務従事者	12,750,500	10,896,805	1,779,861	19.6	19.0	-0.6	20.1	0.4	1.0	-0.1
販売従事者	9,375,100	7,975,072	1,357,045	14.4	13.9	-0.5	15.3	0.9	1.4	0.4
保安職業、サービス職業従事者	7,311,500	6,206,049	1,058,247	11.2	10.8	-0.4	11.9	0.7	1.1	0.3
家庭生活支援サービス職業従事者	262,900	258,817	54,874	0.4	0.5	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2
保安職業従事者	1,034,800	750,256	95,898	1.6	1.3	-0.3	1.1	-0.5	-0.2	0.2
その他のサービス職業従事者	6,013,900	5,196,976	907,475	9.3	9.1	-0.2	10.2	1.0	1.1	0.8
農林漁業作業者	2,978,000	3,498,278	338,039	4.6	6.1	1.5	3.8	-0.8	-2.3	-0.8
運輸・通信従事者	2,195,000	1,799,223	270,675	3.4	3.1	-0.2	3.0	-0.3	-0.1	0.1
生産工程・労務作業者	18,452,800	15,930,304	2,152,390	28.4	27.8	-0.6	24.2	-4.1	-3.6	3.6
採掘作業者	33,700	24,332	1,352	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造・制作・機械運転及び建設作業者	14,794,300	12,782,187	1,735,033	22.8	22.3	-0.4	19.5	-3.2	-2.8	2.8
労務作業者	3,624,800	3,123,785	416,005	5.6	5.5	-0.1	4.7	-0.9	-0.8	0.8
分類不能の職業	902,400	951,358	219,492	1.4	1.7	0.3	2.5	1.1	0.8	0.8
男	38,034,100	32,711,164	5,050,091	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	4,849,400	4,586,405	774,051	12.8	14.0	1.3	15.3	2.6	1.3	1.3
技術者	2,266,700	2,330,965	361,116	6.0	7.1	1.2	7.2	1.2	0.0	0.0
教員	758,800	619,401	109,088	2.0	1.9	-0.1	2.2	0.2	0.3	0.1
その他の専門的・技術的職業従事者	1,823,800	1,636,040	303,847	4.8	5.0	0.2	6.0	1.2	1.0	1.0
管理的職業従事者	1,820,600	1,791,767	318,553	4.8	5.5	0.7	6.3	1.5	0.8	0.8
事務従事者	4,911,100	4,125,014	668,010	12.9	12.6	-0.3	13.2	0.3	0.6	0.0
販売従事者	5,847,900	4,783,234	792,080	15.4	14.6	-0.8	15.7	0.3	1.1	-0.4
保安職業、サービス職業従事者	3,147,300	2,502,015	435,750	8.3	7.6	-0.6	8.6	0.4	1.0	-0.3
家庭生活支援サービス職業従事者	11,600	17,773	1,579	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保安職業従事者	982,100	725,185	92,871	2.6	2.2	-0.4	1.8	-0.7	-0.4	0.4
その他のサービス職業従事者	2,153,700	1,759,057	341,300	5.7	5.4	-0.3	6.8	1.1	1.4	0.8
農林漁業作業者	1,736,300	1,923,686	191,490	4.6	5.9	1.3	3.8	-0.8	-2.1	-0.5
運輸・通信従事者	2,093,300	1,700,520	248,633	5.5	5.2	-0.3	4.9	-0.6	-0.3	0.3
生産工程・労務作業者	13,100,200	10,687,708	1,480,276	34.4	32.7	-1.8	29.3	-5.1	-3.4	3.4
採掘作業者	32,900	23,152	1,352	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0
製造・制作・機械運転及び建設作業者	11,129,700	9,157,222	1,261,874	29.3	28.0	-1.3	25.0	-4.3	-3.0	3.0
労務作業者	1,937,500	1,507,334	217,050	5.1	4.6	-0.5	4.3	-0.8	-0.3	0.3
分類不能の職業	528,000	610,814	141,248	1.4	1.9	0.5	2.8	1.4	0.9	0.9
女	26,975,300	24,536,516	3,826,843	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	4,148,100	3,423,151	574,792	15.4	14.0	-1.4	15.0	-0.4	1.1	-1.1
技術者	202,900	167,246	31,896	0.8	0.7	-0.1	0.8	0.1	0.2	0.0
教員	703,600	522,370	118,399	2.6	2.1	-0.5	3.1	0.5	1.0	0.0
その他の専門的・技術的職業従事者	3,241,700	2,733,535	424,497	12.0	11.1	-0.9	11.1	-0.9	0.0	0.0
管理的職業従事者	225,900	189,269	33,789	0.8	0.8	-0.1	0.9	0.0	0.1	0.0
事務従事者	7,839,300	6,771,790	1,111,851	29.1	27.6	-1.5	29.1	0.0	1.5	-1.5
販売従事者	3,527,200	3,191,838	564,965	13.1	13.0	-0.1	14.8	1.7	1.8	1.6
保安職業、サービス職業従事者	4,164,200	3,704,034	622,497	15.4	15.1	-0.3	16.3	0.8	1.2	0.5
家庭生活支援サービス職業従事者	251,200	241,044	53,295	0.9	1.0	0.1	1.4	0.5	0.4	0.4
保安職業従事者	52,700	25,071	3,028	0.2	0.1	-0.1	0.1	-0.1	0.0	0.0
その他のサービス職業従事者	3,860,400	3,437,919	566,175	14.3	14.0	-0.3	14.8	0.5	0.8	0.2
農林漁業作業者	1,241,700	1,574,592	146,549	4.6	6.4	1.8	3.8	-0.8	-2.6	-1.0
運輸・通信従事者	101,700	98,702	22,042	0.4	0.4	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2
生産工程・労務作業者	5,352,600	5,242,596	672,114	19.8	21.4	1.5	17.6	-2.3	-3.8	0.8
採掘作業者	800	1,180	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造・制作・機械運転及び建設作業者	3,664,700	3,624,966	473,159	13.6	14.8	1.2	12.4	-1.2	-2.4	0.0
労務作業者	1,687,300	1,616,450	198,955	6.3	6.6	0.3	5.2	-1.1	-1.4	0.7
分類不能の職業	374,500	340,544	78,243	1.4	1.4	0.0	2.0	0.7	0.7	0.7

ウ 曜日、職業別標本構成

曜日、職業分類別に当初標本と代替標本とにおける構成比を母集団と比較すると、平日、土曜日、日曜日とも、多くの職業分類において週全体と同様の傾向を示している。(第 14 表)

曜日別にみて代替標本の方が当初標本よりも母集団における構成比との差が特に拡大しているのは、平日、土曜日、日曜日の「生産工程・労務作業員」(−2.6〜−3.8%ポイント拡大)、平日、土曜日、日曜日の「製造・製作・機械運転及び建設作業員」(−2.2〜−2.9%ポイント拡大)、平日及び日曜日の「専門的・技術的職業従事者」(+1.3%ポイント拡大)及び日曜日の「その他のサービス職業従事者」(+1.2%ポイント拡大)等である。

エ 男女、曜日、職業別標本構成

男女、曜日、職業分類別に当初標本と代替標本とにおける構成比を母集団と比較すると、平日、土曜日、日曜日とも、多くの職業分類において週全体と同様の傾向があり、多くの職業分類で代替標本の方が当初標本よりも母集団からの偏りの度合いが大きくなっている。

男性について曜日別にみると、代替標本の方が当初標本よりも偏りが特に拡大しているのは、平日、土曜日、日曜日の「生産工程・労務作業員」(−2.7〜−3.6%ポイント拡大)、その内訳である平日、土曜日、日曜日の「製造・製作・機械運転及び建設作業員」(−2.6〜−3.1%ポイント拡大)、平日、土曜日、日曜日の「専門的・技術的職業従事者」(+1.2〜+1.7%ポイント拡大)、土曜日、日曜日の「その他の専門的・技術的職業従事者」(+1.5〜+1.6%ポイント拡大)、日曜日の「その他のサービス職業従事者」(+1.4%ポイント拡大)、日曜日の「管理的職業従事者」(+1.2%ポイント拡大)などとなっている。

女性について曜日別にみると、代替標本の方が当初標本よりも母集団における構成比との差が特に拡大しているのは、土曜日、日曜日の「販売従事者」(+1.0〜+1.4%ポイント拡大)、土曜日、日曜日の「分類不能の職業」(+1.0〜+1.5%ポイント拡大)などとなっている。

第14表 男女，職業，曜日別人口の構成比 ― 当初標本と代替標本の比較（総数）

	人口			構成比						
	H14 就業構造 基本調査 結果	当初標本	代替標本	就調結 果構成 比①	当初標 本構成 比②	②-①	代替標 本構成 比③	③-①	③-②	③-① － ②-① 絶対値
総数	65,009,300	57,247,680	8,876,933	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
平日	65,009,300	57,258,773	8,826,397	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
土曜日	65,009,300	57,362,937	8,964,277	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
日曜日	65,009,300	57,076,961	9,042,273	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	8,997,500	8,009,556	1,348,843	13.8	14.0	0.2	15.2	1.4	1.2	1.2
平日	8,997,500	8,054,697	1,353,253	13.8	14.1	0.2	15.3	1.5	1.3	1.3
土曜日	8,997,500	7,901,980	1,309,166	13.8	13.8	-0.1	14.6	0.8	0.8	0.7
日曜日	8,997,500	7,891,424	1,366,469	13.8	13.8	0.0	15.1	1.3	1.3	1.3
技術者	2,469,600	2,498,211	393,012	3.8	4.4	0.6	4.4	0.6	0.1	0.1
平日	2,469,600	2,556,015	402,629	3.8	4.5	0.7	4.6	0.8	0.1	0.1
土曜日	2,469,600	2,312,129	356,607	3.8	4.0	0.2	4.0	0.2	-0.1	-0.1
日曜日	2,469,600	2,395,270	381,335	3.8	4.2	0.4	4.2	0.4	0.0	0.0
教員	1,462,400	1,141,771	227,487	2.2	2.0	-0.3	2.6	0.3	0.6	0.1
平日	1,462,400	1,121,514	235,403	2.2	2.0	-0.3	2.7	0.4	0.7	0.1
土曜日	1,462,400	1,207,882	209,800	2.2	2.1	-0.1	2.3	0.1	0.2	-0.1
日曜日	1,462,400	1,176,948	205,599	2.2	2.1	-0.2	2.3	0.0	0.2	-0.2
その他の専門的・技術的職業従事者	5,065,400	4,369,574	728,343	7.8	7.6	-0.2	8.2	0.4	0.6	0.3
平日	5,065,400	4,377,169	715,222	7.8	7.6	-0.1	8.1	0.3	0.5	0.2
土曜日	5,065,400	4,381,969	742,758	7.8	7.6	-0.2	8.3	0.5	0.6	0.3
日曜日	5,065,400	4,319,206	779,535	7.8	7.6	-0.2	8.6	0.8	1.1	0.6
管理的職業従事者	2,046,500	1,981,036	352,342	3.1	3.5	0.3	4.0	0.8	0.5	0.5
平日	2,046,500	1,976,585	345,595	3.1	3.5	0.3	3.9	0.8	0.5	0.5
土曜日	2,046,500	2,016,125	366,580	3.1	3.5	0.4	4.1	0.9	0.6	0.6
日曜日	2,046,500	1,968,200	371,838	3.1	3.4	0.3	4.1	1.0	0.7	0.7
事務従事者	12,750,500	10,896,805	1,779,861	19.6	19.0	-0.6	20.1	0.4	1.0	-0.1
平日	12,750,500	10,910,678	1,771,270	19.6	19.1	-0.6	20.1	0.5	1.0	-0.1
土曜日	12,750,500	10,912,091	1,755,049	19.6	19.0	-0.6	19.6	0.0	0.6	-0.6
日曜日	12,750,500	10,812,154	1,847,630	19.6	18.9	-0.7	20.4	0.8	1.5	0.1
販売従事者	9,375,100	7,975,072	1,357,045	14.4	13.9	-0.5	15.3	0.9	1.4	0.4
平日	9,375,100	7,954,919	1,356,987	14.4	13.9	-0.5	15.4	1.0	1.5	0.4
土曜日	9,375,100	8,006,108	1,363,450	14.4	14.0	-0.5	15.2	0.8	1.3	0.3
日曜日	9,375,100	8,044,801	1,350,927	14.4	14.1	-0.3	14.9	0.5	0.8	0.2
保安職業，サービス職業従事者	7,311,500	6,206,049	1,058,247	11.2	10.8	-0.4	11.9	0.7	1.1	0.3
平日	7,311,500	6,132,842	1,044,323	11.2	10.7	-0.5	11.8	0.6	1.1	0.0
土曜日	7,311,500	6,439,968	1,083,398	11.2	11.2	0.0	12.1	0.8	0.9	0.8
日曜日	7,311,500	6,338,161	1,102,719	11.2	11.1	-0.1	12.2	0.9	1.1	0.8
家庭生活支援サービス職業従事者	262,900	258,817	54,874	0.4	0.5	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2
平日	262,900	255,020	56,203	0.4	0.4	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2
土曜日	262,900	269,132	60,747	0.4	0.5	0.1	0.7	0.3	0.2	0.2
日曜日	262,900	267,486	42,356	0.4	0.5	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0
保安職業従事者	1,034,800	750,256	95,898	1.6	1.3	-0.3	1.1	-0.5	-0.2	0.2
平日	1,034,800	764,834	89,151	1.6	1.3	-0.3	1.0	-0.6	-0.3	0.3
土曜日	1,034,800	683,639	117,036	1.6	1.2	-0.4	1.3	-0.3	0.1	-0.1
日曜日	1,034,800	743,983	108,496	1.6	1.3	-0.3	1.2	-0.4	-0.1	0.1
その他のサービス職業従事者	6,013,900	5,196,976	907,475	9.3	9.1	-0.2	10.2	1.0	1.1	0.8
平日	6,013,900	5,112,989	898,969	9.3	8.9	-0.3	10.2	0.9	1.3	0.6
土曜日	6,013,900	5,487,197	905,615	9.3	9.6	0.3	10.1	0.9	0.5	0.5
日曜日	6,013,900	5,326,692	951,867	9.3	9.3	0.1	10.5	1.3	1.2	1.2
農林漁業作業者	2,978,000	3,498,278	338,039	4.6	6.1	1.5	3.8	-0.8	-2.3	-0.8
平日	2,978,000	3,562,497	359,979	4.6	6.2	1.6	4.1	-0.5	-2.1	-1.1
土曜日	2,978,000	3,342,844	299,089	4.6	5.8	1.2	3.3	-1.2	-2.5	0.0
日曜日	2,978,000	3,332,616	267,290	4.6	5.8	1.3	3.0	-1.6	-2.9	0.4
運輸・通信従事者	2,195,000	1,799,223	270,675	3.4	3.1	-0.2	3.0	-0.3	-0.1	0.1
平日	2,195,000	1,806,825	268,623	3.4	3.2	-0.2	3.0	-0.3	-0.1	0.1
土曜日	2,195,000	1,770,324	264,038	3.4	3.1	-0.3	2.9	-0.4	-0.1	0.1
日曜日	2,195,000	1,790,107	287,571	3.4	3.1	-0.2	3.2	-0.2	0.0	0.0
生産工程・労務作業者	18,452,800	15,930,304	2,152,390	28.4	27.8	-0.6	24.2	-4.1	-3.6	3.6
平日	18,452,800	15,925,198	2,117,336	28.4	27.8	-0.6	24.0	-4.4	-3.8	3.8
土曜日	18,452,800	15,957,362	2,264,875	28.4	27.8	-0.6	25.3	-3.1	-2.6	2.6
日曜日	18,452,800	15,928,779	2,215,174	28.4	27.9	-0.5	24.5	-3.9	-3.4	3.4
採掘作業者	33,700	24,332	1,352	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平日	33,700	22,335	690	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
土曜日	33,700	28,570	3,269	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日曜日	33,700	30,082	2,742	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造・制作・機械運転及び建設作業者	14,794,300	12,782,187	1,735,033	22.8	22.3	-0.4	19.5	-3.2	-2.8	2.8
平日	14,794,300	12,804,204	1,719,126	22.8	22.4	-0.4	19.5	-3.3	-2.9	2.9
土曜日	14,794,300	12,699,874	1,789,634	22.8	22.1	-0.6	20.0	-2.8	-2.2	2.2
日曜日	14,794,300	12,754,417	1,759,968	22.8	22.3	-0.4	19.5	-3.3	-2.9	2.9
労務作業者	3,624,800	3,123,785	416,005	5.6	5.5	-0.1	4.7	-0.9	-0.8	0.8
平日	3,624,800	3,098,659	397,520	5.6	5.4	-0.2	4.5	-1.1	-0.9	0.9
土曜日	3,624,800	3,228,917	471,972	5.6	5.6	0.1	5.3	-0.3	-0.4	0.3
日曜日	3,624,800	3,144,280	452,465	5.6	5.5	-0.1	5.0	-0.6	-0.5	0.5
分類不能の職業	902,400	951,358	219,492	1.4	1.7	0.3	2.5	1.1	0.8	0.8
平日	902,400	934,531	209,031	1.4	1.6	0.2	2.4	1.0	0.7	0.7
土曜日	902,400	1,016,135	258,635	1.4	1.8	0.4	2.9	1.5	1.1	1.1
日曜日	902,400	970,718	232,654	1.4	1.7	0.3	2.6	1.2	0.9	0.9

第14表 男女，職業，曜日別人口の構成比 ― 当初標本と代替標本の比較（男）

	人口			構成比						
	H14 就業構成 基本調査 結果	当初標本	代替標本	就調結 果構成 比①	当初標本		代替標本		③-②	③-①
					構成 比②	②-①	構成 比③	③-①		－ ②-① 絶対値
総数	38,034,100	32,711,164	5,050,091	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
平日	38,034,100	32,772,489	5,023,602	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
土曜日	38,034,100	32,587,356	5,116,071	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
日曜日	38,034,100	32,528,348	5,116,553	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	4,849,400	4,586,405	774,051	12.8	14.0	1.3	15.3	2.6	1.3	1.3
平日	4,849,400	4,623,700	768,641	12.8	14.1	1.4	15.3	2.6	1.2	1.2
土曜日	4,849,400	4,489,788	780,294	12.8	13.8	1.0	15.3	2.5	1.5	1.5
日曜日	4,849,400	4,496,550	794,857	12.8	13.8	1.1	15.5	2.8	1.7	1.7
技術者	2,266,700	2,330,965	361,116	6.0	7.1	1.2	7.2	1.2	0.0	0.0
平日	2,266,700	2,384,302	367,810	6.0	7.3	1.3	7.3	1.4	0.0	0.0
土曜日	2,266,700	2,154,266	328,329	6.0	6.6	0.7	6.4	0.5	-0.2	-0.2
日曜日	2,266,700	2,240,975	360,433	6.0	6.9	0.9	7.0	1.1	0.2	0.2
教員	758,800	619,401	109,088	2.0	1.9	-0.1	2.2	0.2	0.3	0.1
平日	758,800	609,379	111,215	2.0	1.9	-0.1	2.2	0.2	0.4	0.1
土曜日	758,800	651,255	110,643	2.0	2.0	0.0	2.2	0.2	0.2	0.2
日曜日	758,800	637,658	96,895	2.0	2.0	0.0	1.9	-0.1	-0.1	0.1
その他の専門的・技術的職業従事者	1,823,800	1,636,040	303,847	4.8	5.0	0.2	6.0	1.2	1.0	1.0
平日	1,823,800	1,630,019	289,615	4.8	5.0	0.2	5.8	1.0	0.8	0.8
土曜日	1,823,800	1,684,267	341,321	4.8	5.2	0.4	6.7	1.9	1.5	1.5
日曜日	1,823,800	1,617,917	337,528	4.8	5.0	0.2	6.6	1.8	1.6	1.6
管理的職業従事者	1,820,600	1,791,767	318,553	4.8	5.5	0.7	6.3	1.5	0.8	0.8
平日	1,820,600	1,776,114	308,630	4.8	5.4	0.6	6.1	1.4	0.7	0.7
土曜日	1,820,600	1,857,202	340,814	4.8	5.7	0.9	6.7	1.9	1.0	1.0
日曜日	1,820,600	1,804,598	345,903	4.8	5.5	0.8	6.8	2.0	1.2	1.2
事務従事者	4,911,100	4,125,014	668,010	12.9	12.6	-0.3	13.2	0.3	0.6	0.0
平日	4,911,100	4,152,865	680,452	12.9	12.7	-0.2	13.5	0.6	0.9	0.4
土曜日	4,911,100	4,091,477	635,880	12.9	12.6	-0.4	12.4	-0.5	-0.1	0.1
日曜日	4,911,100	4,019,298	637,929	12.9	12.4	-0.6	12.5	-0.4	0.1	-0.1
販売従事者	5,847,900	4,783,234	792,080	15.4	14.6	-0.8	15.7	0.3	1.1	-0.4
平日	5,847,900	4,826,614	795,655	15.4	14.7	-0.6	15.8	0.5	1.1	-0.2
土曜日	5,847,900	4,630,584	800,576	15.4	14.2	-1.2	15.6	0.3	1.4	-0.9
日曜日	5,847,900	4,718,984	765,706	15.4	14.5	-0.9	15.0	-0.4	0.5	-0.5
保安職業，サービス職業従事者	3,147,300	2,502,015	435,750	8.3	7.6	-0.6	8.6	0.4	1.0	-0.3
平日	3,147,300	2,471,714	426,262	8.3	7.5	-0.7	8.5	0.2	0.9	-0.5
土曜日	3,147,300	2,576,067	447,953	8.3	7.9	-0.4	8.8	0.5	0.9	0.1
日曜日	3,147,300	2,579,470	470,988	8.3	7.9	-0.3	9.2	0.9	1.3	0.6
家庭生活支援サービス職業従事者	11,600	17,773	1,579	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平日	11,600	18,675	1,498	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
土曜日	11,600	16,340	1,782	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日曜日	11,600	14,698	1,782	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保安職業従事者	982,100	725,185	92,871	2.6	2.2	-0.4	1.8	-0.7	-0.4	0.4
平日	982,100	739,285	85,743	2.6	2.3	-0.3	1.7	-0.9	-0.5	0.5
土曜日	982,100	657,396	114,470	2.6	2.0	-0.6	2.2	-0.3	0.2	-0.2
日曜日	982,100	722,476	106,908	2.6	2.2	-0.4	2.1	-0.5	-0.1	0.1
その他のサービス職業従事者	2,153,700	1,759,057	341,300	5.7	5.4	-0.3	6.8	1.1	1.4	0.8
平日	2,153,700	1,713,754	339,020	5.7	5.2	-0.4	6.7	1.1	1.5	0.7
土曜日	2,153,700	1,902,330	331,701	5.7	5.8	0.2	6.5	0.8	0.6	0.6
日曜日	2,153,700	1,842,296	362,298	5.7	5.7	0.0	7.1	1.4	1.4	1.4
農林漁業作業	1,736,300	1,923,686	191,490	4.6	5.9	1.3	3.8	-0.8	-2.1	-0.5
平日	1,736,300	1,949,115	204,566	4.6	5.9	1.4	4.1	-0.5	-1.9	-0.9
土曜日	1,736,300	1,865,397	164,729	4.6	5.7	1.2	3.2	-1.3	-2.5	0.2
日曜日	1,736,300	1,854,830	152,866	4.6	5.7	1.1	3.0	-1.6	-2.7	0.4
運輸・通信従事者	2,093,300	1,700,520	248,633	5.5	5.2	-0.3	4.9	-0.6	-0.3	0.3
平日	2,093,300	1,710,443	243,543	5.5	5.2	-0.3	4.8	-0.7	-0.4	0.4
土曜日	2,093,300	1,669,825	252,381	5.5	5.1	-0.4	4.9	-0.6	-0.2	0.2
日曜日	2,093,300	1,681,605	270,338	5.5	5.2	-0.3	5.3	-0.2	0.1	-0.1
生産工程・労務作業	13,100,200	10,687,708	1,480,276	34.4	32.7	-1.8	29.3	-5.1	-3.4	3.4
平日	13,100,200	10,653,773	1,452,881	34.4	32.5	-1.9	28.9	-5.5	-3.6	3.6
土曜日	13,100,200	10,770,878	1,552,196	34.4	33.1	-1.4	30.3	-4.1	-2.7	2.7
日曜日	13,100,200	10,774,211	1,545,331	34.4	33.1	-1.3	30.2	-4.2	-2.9	2.9
採掘作業	32,900	23,152	1,352	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0
平日	32,900	21,450	690	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.1	0.1
土曜日	32,900	26,856	3,269	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
日曜日	32,900	27,958	2,742	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
製造・制作・機械運転及び建設作業	11,129,700	9,157,222	1,261,874	29.3	28.0	-1.3	25.0	-4.3	-3.0	3.0
平日	11,129,700	9,167,064	1,247,577	29.3	28.0	-1.3	24.8	-4.4	-3.1	3.1
土曜日	11,129,700	9,094,784	1,296,994	29.3	27.9	-1.4	25.4	-3.9	-2.6	2.6
日曜日	11,129,700	9,170,447	1,298,240	29.3	28.2	-1.1	25.4	-3.9	-2.8	2.8
労務作業	1,937,500	1,507,334	217,050	5.1	4.6	-0.5	4.3	-0.8	-0.3	0.3
平日	1,937,500	1,465,259	204,613	5.1	4.5	-0.6	4.1	-1.0	-0.4	0.4
土曜日	1,937,500	1,649,239	251,934	5.1	5.1	0.0	4.9	-0.2	-0.1	0.1
日曜日	1,937,500	1,575,806	244,349	5.1	4.8	-0.2	4.8	-0.3	-0.1	0.1
分類不能の職業	528,000	610,814	141,248	1.4	1.9	0.5	2.8	1.4	0.9	0.9
平日	528,000	608,152	142,971	1.4	1.9	0.5	2.8	1.5	1.0	1.0
土曜日	528,000	636,138	141,248	1.4	2.0	0.6	2.8	1.4	0.8	0.8
日曜日	528,000	598,802	132,635	1.4	1.8	0.5	2.6	1.2	0.8	0.8

第14表 男女、職業、曜日別人口の構成比 ― 当初標本と代替標本の比較（女）

	人口			構成比							
	H14 就業構造 基本調査 結果	当初標本	代替標本	就調結 果構成 比①	当初標本 構成 比②	②-①	代替標本 構成 比③	③-①	③-②	③-① － ②-① 絶対値	
総数	26,975,300	24,536,516	3,826,843	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
平日	26,975,300	24,486,283	3,802,795	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
土曜日	26,975,300	24,775,582	3,848,207	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
日曜日	26,975,300	24,548,613	3,925,720	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
専門的・技術的職業従事者	4,148,100	3,423,151	574,792	15.4	14.0	-1.4	15.0	-0.4	1.1	-1.1	
平日	4,148,100	3,430,998	584,612	15.4	14.0	-1.4	15.4	0.0	1.4	-1.4	
土曜日	4,148,100	3,412,192	528,872	15.4	13.8	-1.6	13.7	-1.6	0.0	0.0	
日曜日	4,148,100	3,394,875	571,613	15.4	13.8	-1.5	14.6	-0.8	0.7	-0.7	
技術者	202,900	167,246	31,896	0.8	0.7	-0.1	0.8	0.1	0.2	0.0	
平日	202,900	171,713	34,818	0.8	0.7	-0.1	0.9	0.2	0.2	0.1	
土曜日	202,900	157,863	28,278	0.8	0.6	-0.1	0.7	0.0	0.1	-0.1	
日曜日	202,900	154,295	20,902	0.8	0.6	-0.1	0.5	-0.2	-0.1	0.1	
教員	703,600	522,370	118,399	2.6	2.1	-0.5	3.1	0.5	1.0	0.0	
平日	703,600	512,135	124,187	2.6	2.1	-0.5	3.3	0.7	1.2	0.1	
土曜日	703,600	556,627	99,157	2.6	2.2	-0.4	2.6	0.0	0.3	-0.3	
日曜日	703,600	539,291	108,704	2.6	2.2	-0.4	2.8	0.2	0.6	-0.3	
その他の専門的・技術的職業従事者	3,241,700	2,733,535	424,497	12.0	11.1	-0.9	11.1	-0.9	0.0	0.0	
平日	3,241,700	2,747,150	425,606	12.0	11.2	-0.8	11.2	-0.8	0.0	0.0	
土曜日	3,241,700	2,697,702	401,437	12.0	10.9	-1.1	10.4	-1.6	-0.5	0.5	
日曜日	3,241,700	2,701,289	442,007	12.0	11.0	-1.0	11.3	-0.8	0.3	-0.3	
管理的職業従事者	225,900	189,269	33,789	0.8	0.8	-0.1	0.9	0.0	0.1	0.0	
平日	225,900	200,471	36,964	0.8	0.8	0.0	1.0	0.1	0.2	0.1	
土曜日	225,900	158,923	25,766	0.8	0.6	-0.2	0.7	-0.2	0.0	0.0	
日曜日	225,900	163,602	25,935	0.8	0.7	-0.2	0.7	-0.2	0.0	0.0	
事務従事者	7,839,300	6,771,790	1,111,851	29.1	27.6	-1.5	29.1	0.0	1.5	-1.5	
平日	7,839,300	6,757,812	1,090,818	29.1	27.6	-1.5	28.7	-0.4	1.1	-1.1	
土曜日	7,839,300	6,820,614	1,119,169	29.1	27.5	-1.5	29.1	0.0	1.6	-1.5	
日曜日	7,839,300	6,792,856	1,209,701	29.1	27.7	-1.4	30.8	1.8	3.1	0.4	
販売従事者	3,527,200	3,191,838	564,965	13.1	13.0	-0.1	14.8	1.7	1.8	1.6	
平日	3,527,200	3,128,305	561,332	13.1	12.8	-0.3	14.8	1.7	2.0	1.4	
土曜日	3,527,200	3,375,524	562,873	13.1	13.6	0.5	14.6	1.6	1.0	1.0	
日曜日	3,527,200	3,325,817	585,221	13.1	13.5	0.5	14.9	1.8	1.4	1.4	
保安職業、サービス職業従事者	4,164,200	3,704,034	622,497	15.4	15.1	-0.3	16.3	0.8	1.2	0.5	
平日	4,164,200	3,661,129	618,061	15.4	15.0	-0.5	16.3	0.8	1.3	0.3	
土曜日	4,164,200	3,863,902	635,445	15.4	15.6	0.2	16.5	1.1	0.9	0.9	
日曜日	4,164,200	3,758,691	631,731	15.4	15.3	-0.1	16.1	0.7	0.8	0.5	
家庭生活支援サービス職業従事者	251,200	241,044	53,295	0.9	1.0	0.1	1.4	0.5	0.4	0.4	
平日	251,200	236,345	54,705	0.9	1.0	0.0	1.4	0.5	0.5	0.5	
土曜日	251,200	252,792	58,965	0.9	1.0	0.1	1.5	0.6	0.5	0.5	
日曜日	251,200	252,789	40,574	0.9	1.0	0.1	1.0	0.1	0.0	0.0	
保安職業従事者	52,700	25,071	3,028	0.2	0.1	-0.1	0.1	-0.1	0.0	0.0	
平日	52,700	25,550	3,408	0.2	0.1	-0.1	0.1	-0.1	0.0	0.0	
土曜日	52,700	26,243	2,567	0.2	0.1	-0.1	0.1	-0.1	0.0	0.0	
日曜日	52,700	21,507	1,588	0.2	0.1	-0.1	0.0	-0.2	0.0	0.0	
その他のサービス職業従事者	3,860,400	3,437,919	566,175	14.3	14.0	-0.3	14.8	0.5	0.8	0.2	
平日	3,860,400	3,399,234	559,948	14.3	13.9	-0.4	14.7	0.4	0.8	0.0	
土曜日	3,860,400	3,584,866	573,913	14.3	14.5	0.2	14.9	0.6	0.4	0.4	
日曜日	3,860,400	3,484,395	589,570	14.3	14.2	-0.1	15.0	0.7	0.8	0.6	
農林漁業作業者	1,241,700	1,574,592	146,549	4.6	6.4	1.8	3.8	-0.8	-2.6	-1.0	
平日	1,241,700	1,613,382	155,412	4.6	6.6	2.0	4.1	-0.5	-2.5	-1.5	
土曜日	1,241,700	1,477,447	134,359	4.6	6.0	1.4	3.5	-1.1	-2.5	-0.2	
日曜日	1,241,700	1,477,787	114,424	4.6	6.0	1.4	2.9	-1.7	-3.1	-0.3	
運輸・通信従事者	101,700	98,702	22,042	0.4	0.4	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2	
平日	101,700	96,383	25,081	0.4	0.4	0.0	0.7	0.3	0.3	0.3	
土曜日	101,700	100,500	11,657	0.4	0.4	0.0	0.3	-0.1	-0.1	0.0	
日曜日	101,700	108,502	17,233	0.4	0.4	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	
生産工程・労務作業者	5,352,600	5,242,596	672,114	19.8	21.4	1.5	17.6	-2.3	-3.8	0.8	
平日	5,352,600	5,271,425	664,455	19.8	21.5	1.7	17.5	-2.4	-4.1	0.7	
土曜日	5,352,600	5,186,483	712,678	19.8	20.9	1.1	18.5	-1.3	-2.4	0.2	
日曜日	5,352,600	5,154,568	669,843	19.8	21.0	1.2	17.1	-2.8	-3.9	1.6	
採掘作業者	800	1,180	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
平日	800	885	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
土曜日	800	1,714	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
日曜日	800	2,123	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
製造・制作・機械運転及び建設作業者	3,664,700	3,624,966	473,159	13.6	14.8	1.2	12.4	-1.2	-2.4	0.0	
平日	3,664,700	3,637,140	471,548	13.6	14.9	1.3	12.4	-1.2	-2.5	-0.1	
土曜日	3,664,700	3,605,090	492,640	13.6	14.6	1.0	12.8	-0.8	-1.7	-0.2	
日曜日	3,664,700	3,583,970	461,728	13.6	14.6	1.0	11.8	-1.8	-2.8	0.8	
労務作業者	1,687,300	1,616,450	198,955	6.3	6.6	0.3	5.2	-1.1	-1.4	0.7	
平日	1,687,300	1,633,400	192,907	6.3	6.7	0.4	5.1	-1.2	-1.6	0.8	
土曜日	1,687,300	1,579,679	220,038	6.3	6.4	0.1	5.7	-0.5	-0.7	0.4	
日曜日	1,687,300	1,568,474	208,116	6.3	6.4	0.1	5.3	-1.0	-1.1	0.8	
分類不能の職業	374,500	340,544	78,243	1.4	1.4	0.0	2.0	0.7	0.7	0.7	
平日	374,500	326,379	66,060	1.4	1.3	-0.1	1.7	0.3	0.4	0.3	
土曜日	374,500	379,997	117,387	1.4	1.5	0.1	3.1	1.7	1.5	1.5	
日曜日	374,500	371,916	100,019	1.4	1.5	0.1	2.5	1.2	1.0	1.0	

(5) 家族類型別標本構成

ここでは、家族類型別に当初標本と代替標本の人口構成比を母集団（世帯属性別ベンチマーク人口）のそれと比較する。（第 15 表）

ア 家族類型別標本構成

当初標本と比較して、代替標本が同じ方向により大きく偏っているのは、「夫婦のみの世帯」の「夫」及び「妻」で、それぞれ 1.7%ポイント拡大し、次いで「夫婦と子供の世帯」の「子供」で 1.1%ポイント拡大している。ただし、「夫婦のみの世帯」の「夫」と「妻」では、母集団よりも構成比が高く、「夫婦と子供の世帯」の「子供」では、母集団よりも構成比が低い方向に偏っている。また、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」の「子供」では、当初標本における構成比は、母集団のそれと大きな差はないが、代替標本では-0.5~-0.7%ポイントと構成比が低くなっている。

一方、「単身世帯」では、当初標本における構成比は、母集団よりも-1.7%ポイントと低くなっているが、代替標本では-0.1%と、差が縮小している。

イ 曜日、家族類型別標本構成

曜日、家族類型別に当初標本と代替標本とにおける構成比を母集団と比較すると、平日、土曜日、日曜日とも、週全体とほぼ同様の傾向を示している。ただし、日曜日の「夫婦と子供の世帯」の「子供」については、当初標本と代替標本とも母集団と比較して構成比が低くなっていることに変わりはないが、他の曜日と異なり、代替標本における構成比（母集団と比べて-0.5%ポイント）が当初標本のそれ（同-0.4%ポイント）と比較して特別低くなっているということはない。

第15表 曜日、世帯属性別人口の構成比 - 当初標本と代替標本の比較

	人口			構成比						
	社会調査世帯属性別ベンチマーク人口	当初標本	代替標本	ベンチマーク人口構成比①	当初標本構成比②	②-①	代替標本構成比③	③-①	③-②	(③-①) - (②-①) 絶対値
週全体	98,744,243	83,275,054	13,555,040	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	8,574,273	1,624,798	9.2	10.3	1.1	12.0	2.8	1.7	1.7
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	8,608,864	1,632,069	9.2	10.3	1.1	12.0	2.8	1.7	1.7
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	12,400,256	2,054,066	15.1	14.9	-0.2	15.2	0.1	0.3	-0.1
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	12,452,145	2,049,435	15.1	15.0	-0.1	15.1	0.0	0.2	-0.1
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	13,335,439	2,024,930	16.7	16.0	-0.6	14.9	-1.7	-1.1	1.1
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	199,559	20,314	0.2	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	203,473	19,397	0.2	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	397,658	39,923	0.4	0.5	0.1	0.3	-0.1	-0.2	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	34,401	4,454	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	35,065	4,454	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	68,316	8,909	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	464,102	74,154	0.6	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	464,998	77,281	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	463,228	72,532	0.6	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	126,138	22,183	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	126,156	22,517	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	125,199	23,292	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,289,830	148,958	1.4	1.5	0.1	1.1	-0.3	-0.4	0.2
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,289,796	147,163	1.4	1.5	0.1	1.1	-0.3	-0.5	0.2
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,530,590	171,957	1.8	1.8	0.0	1.3	-0.5	-0.6	0.5
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,576,210	301,540	2.8	3.1	0.3	2.2	-0.6	-0.9	0.3
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,742,407	228,809	2.1	2.1	0.0	1.7	-0.4	-0.4	0.3
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,736,976	229,277	2.1	2.1	0.0	1.7	-0.4	-0.4	0.4
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,414,824	299,297	3.0	2.9	-0.1	2.2	-0.7	-0.7	0.7
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,728,443	229,502	2.1	2.1	0.0	1.7	-0.4	-0.4	0.4
父子世帯：父	87,248	75,730	13,437	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
父子世帯：子供	102,589	85,659	13,032	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
母子世帯：母	647,366	473,700	86,516	0.7	0.6	-0.1	0.6	0.0	0.1	-0.1
母子世帯：子供	688,468	455,636	97,560	0.7	0.5	-0.2	0.7	0.0	0.2	-0.1
単身世帯	13,275,314	9,795,982	1,813,282	13.4	11.8	-1.7	13.4	-0.1	1.6	-1.6
平日	98,744,243	83,202,411	13,537,947	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	8,558,516	1,640,443	9.2	10.3	1.1	12.1	2.9	1.8	1.8
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	8,596,628	1,636,555	9.2	10.3	1.1	12.1	2.9	1.8	1.8
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	12,399,426	2,049,179	15.1	14.9	-0.2	15.1	0.0	0.2	-0.1
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	12,443,869	2,045,916	15.1	15.0	-0.1	15.1	0.0	0.2	-0.1
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	13,239,663	1,979,447	16.7	15.9	-0.7	14.6	-2.0	-1.3	1.3
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	206,391	19,888	0.2	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	210,223	18,759	0.2	0.3	0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	410,271	38,172	0.4	0.5	0.1	0.3	-0.1	-0.2	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	35,332	4,795	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	35,332	4,795	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	68,547	9,590	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	459,246	75,954	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	460,372	80,273	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	459,374	74,575	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	127,815	17,476	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	127,642	17,943	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	127,124	18,061	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,316,317	153,754	1.4	1.6	0.2	1.1	-0.3	-0.4	0.1
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,315,502	151,658	1.4	1.6	0.2	1.1	-0.3	-0.5	0.1
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,561,410	181,837	1.8	1.9	0.1	1.3	-0.5	-0.5	0.4
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,630,765	314,783	2.8	3.2	0.3	2.3	-0.5	-0.8	0.2
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,745,112	212,394	2.1	2.1	0.0	1.6	-0.5	-0.5	0.5
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,737,591	214,108	2.1	2.1	0.0	1.6	-0.5	-0.5	0.5
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,422,076	276,980	3.0	2.9	0.0	2.0	-0.9	-0.9	0.9
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,729,561	213,592	2.1	2.1	0.0	1.6	-0.5	-0.5	0.5
父子世帯：父	87,248	81,301	14,528	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
父子世帯：子供	102,589	93,415	13,748	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
母子世帯：母	647,366	460,757	87,523	0.7	0.6	-0.1	0.6	0.0	0.1	-0.1
母子世帯：子供	688,468	432,354	97,796	0.7	0.5	-0.2	0.7	0.0	0.2	-0.2
単身世帯	13,275,314	9,710,481	1,873,423	13.4	11.7	-1.8	13.8	0.4	2.2	-1.4

第15表 曜日，世帯属性別人口の構成比 - 当初標本と代替標本の比較

	人口			構成比						
	社会調査世帯属性別ベンチマーク人口	当初標本	代替標本	ベンチマーク人口構成比①	当初標本		代替標本		③-②	(③-①) - (②-①) 絶対値
					構成比②	②-①	構成比③	③-①		
土曜日	98,744,243	83,535,695	13,488,032	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	8,585,185	1,548,386	9.2	10.3	1.1	11.5	2.3	1.2	1.2
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	8,609,480	1,587,809	9.2	10.3	1.1	11.8	2.6	1.5	1.5
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	12,373,025	2,014,293	15.1	14.8	-0.3	14.9	-0.2	0.1	-0.1
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	12,433,606	1,993,024	15.1	14.9	-0.2	14.8	-0.3	-0.1	0.1
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	13,608,198	2,060,698	16.7	16.3	-0.4	15.3	-1.4	-1.0	1.0
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	182,809	20,693	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	185,731	19,958	0.2	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	366,617	45,621	0.4	0.4	0.0	0.3	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	28,532	2,378	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	33,180	2,378	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	66,359	4,756	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	480,124	66,233	0.6	0.6	0.0	0.5	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	479,793	66,904	0.6	0.6	0.0	0.5	-0.1	-0.1	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	476,564	65,416	0.6	0.6	0.0	0.5	-0.1	-0.1	0.1
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	120,624	37,116	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	120,624	37,116	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	119,211	39,535	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.2	0.1
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,220,786	150,557	1.4	1.5	0.1	1.1	-0.3	-0.3	0.2
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,222,860	147,642	1.4	1.5	0.1	1.1	-0.3	-0.4	0.3
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,455,035	158,073	1.8	1.7	-0.1	1.2	-0.6	-0.6	0.6
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,434,180	291,867	2.8	2.9	0.1	2.2	-0.7	-0.8	0.6
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,749,283	291,910	2.1	2.1	0.0	2.2	0.1	0.1	0.1
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,749,246	290,912	2.1	2.1	0.0	2.2	0.1	0.1	0.1
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,434,895	378,395	3.0	2.9	0.0	2.8	-0.2	-0.1	0.1
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,736,642	289,031	2.1	2.1	0.0	2.1	0.1	0.1	0.1
父子世帯：父	87,248	61,513	7,705	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
父子世帯：子供	102,589	67,010	7,212	0.1	0.1	0.0	0.1	-0.1	0.0	0.0
母子世帯：母	647,366	494,769	80,887	0.7	0.6	-0.1	0.6	-0.1	0.0	0.0
母子世帯：子供	688,468	521,643	88,114	0.7	0.6	-0.1	0.7	0.0	0.0	0.0
単身世帯	13,275,314	10,118,171	1,693,415	13.4	12.1	-1.3	12.6	-0.9	0.4	-0.4
日曜日	98,744,243	83,377,625	13,707,509	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	8,642,144	1,622,986	9.2	10.4	1.1	11.8	2.6	1.5	1.5
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	8,669,433	1,653,899	9.2	10.4	1.2	12.1	2.8	1.7	1.7
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	12,431,641	2,118,277	15.1	14.9	-0.2	15.5	0.4	0.5	0.2
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	12,512,069	2,123,440	15.1	15.0	-0.1	15.5	0.4	0.5	0.3
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	13,541,562	2,216,581	16.7	16.2	-0.4	16.2	-0.5	-0.1	0.1
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	182,146	22,060	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	187,465	22,022	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	-0.1	0.0
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	365,635	42,979	0.4	0.4	0.0	0.3	-0.1	-0.1	0.1
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	35,618	4,827	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	35,618	4,827	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	69,120	9,654	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	472,363	73,074	0.6	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	473,332	72,698	0.6	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	469,157	69,431	0.6	0.6	0.0	0.5	0.0	-0.1	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	123,266	30,786	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	124,255	30,786	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	121,563	33,205	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,226,438	123,375	1.4	1.5	0.1	0.9	-0.5	-0.6	0.4
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,228,202	124,205	1.4	1.5	0.1	0.9	-0.5	-0.6	0.4
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,452,044	136,443	1.8	1.7	-0.1	1.0	-0.8	-0.7	0.7
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,445,464	245,001	2.8	2.9	0.1	1.8	-1.0	-1.1	0.9
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,722,003	247,778	2.1	2.1	0.0	1.8	-0.3	-0.3	0.3
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,721,632	243,486	2.1	2.1	0.0	1.8	-0.3	-0.3	0.3
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,358,496	331,783	3.0	2.8	-0.1	2.4	-0.5	-0.4	0.4
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,714,652	249,528	2.1	2.1	0.0	1.8	-0.2	-0.2	0.2
父子世帯：父	87,248	62,091	13,715	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
父子世帯：子供	102,589	65,527	15,275	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
母子世帯：母	647,366	517,348	87,110	0.7	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
母子世帯：子供	688,468	506,041	105,832	0.7	0.6	-0.1	0.8	0.1	0.2	0.0
単身世帯	13,275,314	9,901,298	1,632,449	13.4	11.9	-1.6	11.9	-1.5	0.0	0.0

(6) まとめ

当初標本と代替標本とにおける各種属性別人口の構成比を母集団のそれと比較した結果、次のことが分かった。

当初標本と代替標本における男女の構成比を比較すると、どちらも男性の構成比が低く女性が高いが、代替標本の方が当初標本より女性への偏りが大きくなっている。

年齢階級別に当初標本と代替標本について母集団における構成比との差をみると、20 歳台後半と 30 歳台前半の年齢階級では、当初標本も代替標本も母集団における構成比よりも低い上、代替標本の方がその度合いが強くなっている。一方、40 歳台前半と 50 歳台後半から 70 歳台前半の年齢階級では、当初標本も代替標本も母集団と比較して構成比が高くなっており、しかも代替標本の方がその度合いが大きくなっている。男女、年齢階級別にみても、おおむね男女計と同様である。

配偶関係別にみると、「未婚」は当初標本も代替標本も母集団における構成比よりも低くなっている上、代替標本の方がその度合いが大きくなっている。これとは逆に、「有配偶」では当初標本も代替標本も母集団における構成比よりも高くなっている上、代替標本の方がその度合いが大きくなっている。すなわち、「未婚」から「有配偶」への標本の偏りがみられ、それは代替標本において顕著である。この傾向は、男女別にみた場合、男性で顕著である。

職業分類別に当初標本と代替標本とにおける構成比を母集団と比較すると、当初標本も代替標本も母集団における構成比より低く、しかも代替標本の方がその度合いが大きいのは、「生産工程・労務作業員」及びその内訳である「製造・製作・機械運転及び建設作業員」や、「保安職業従事者」などである。一方、当初標本、代替標本における構成比ともに母集団におけるそれよりも高く、しかも代替標本における構成比が当初標本におけるそれよりも高くなっているのは、「専門的・技術的職業従事者」及びその内訳である「技術者」の外、「管理的職業従事者」、「分類不能の職業」などである。男女、職業分類別にみた場合、男性では上記の男女計と同様の傾向を示しているが、女性は、男性ほど代替標本の偏りが顕著に現れていない。

家族類型別にみた場合、当初標本も代替標本も母集団における構成比よりも低く、なおかつ代替標本の方がその度合いが大きくなっているのは、「夫婦と子供の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」の「子供」である。一方、当初標本も代替標本も母集団における構成比よりも高く、なおかつ代替標本の方がその度合いが大きくなっているのは、「夫婦のみの世帯」の「夫」及び「妻」である。

III 調査結果の推定

1 調査結果の推定と補正の方法

平成 13 年社会生活基本調査の結果の推定に当たっては、地域（調査票 A に係る結果の場合は都道府県、調査票 B に係る結果の場合は全国。以下同じ。）、男女、年齢階級別人口、又は地域、世帯属性（家族類型）別人口をベンチマークとする比推定を行った。具体的には、調査結果は原則として地域、男女、年齢階級別人口をベンチマークとした比推定により算出するが、夫・妻等を表章した結果表では、地域、世帯属性別人口をベンチマークとする比推定によった。すなわち、地域、男女、年齢階級別人口及び地域、世帯属性別人口は、集計結果数字と母集団の値が一致するように結果数値を補正していることになる。この補正を行うことにより、標本の構成比の偏りがある程度改善されることが期待される。この章は、その改善の度合いを明らかにすることを目的としている。

夫・妻等を表章した結果表に対する、世帯属性別人口を基準とする比推定は、平成 13 年に新

たに導入したものである^(注8)。ここでは、これを行ったことによる、偏りの改善状況についても併せて明らかにする。

2 推定結果の評価

(1) 男女、年齢階級別結果

男女別人口及び、男女、年齢階級別人口の比推定結果は、当然のことながら、社会生活基本調査の個人属性別ベンチマーク人口と一致する（第16表、第17表）。これは、曜日別にみても同様である。

第16表 曜日、男女別人口の構成比 — 結果の推定と補正

	人口			構成比と検定							
	社会調個人属性 性別ベンチ マーク人口	線形推定値	比推定値	ベンチ マーク 人口構 成比①	線形推定値			比推定値			(③-①) － (②-①) 絶対値
					構成比 ②	②- ①	有意 性	構成比 ③	③- ①	有意 性	
週全体	113,095,230	110,714,845	113,095,233	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
男	55,084,304	53,099,940	55,084,304	48.7	48.0	-0.7	*	48.7	0.0		-0.7
女	58,010,926	57,614,906	58,010,929	51.3	52.0	0.7	*	51.3	0.0		-0.7
平日	113,095,230	110,480,302	113,095,233	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
男	55,084,304	53,081,461	55,084,304	48.7	48.0	-0.7	*	48.7	0.0		-0.7
女	58,010,926	57,398,841	58,010,929	51.3	52.0	0.7	*	51.3	0.0		-0.7
土曜日	113,095,230	111,327,529	113,095,233	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
男	55,084,304	53,200,425	55,084,304	48.7	47.8	-0.9	*	48.7	0.0		-0.9
女	58,010,926	58,127,103	58,010,929	51.3	52.2	0.9	*	51.3	0.0		-0.9
日曜日	113,095,230	111,274,879	113,095,233	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
男	55,084,304	53,091,849	55,084,304	48.7	47.7	-1.0	*	48.7	0.0		-1.0
女	58,010,926	58,183,030	58,010,929	51.3	52.3	1.0	*	51.3	0.0		-1.0

注8 平成8年調査以前の集計においては、このような結果表の集計も、男女、年齢階級別人口をベンチマークとする比推定で行っていた。

第17表 男女、年齢5歳階級別人口の構成比 — 結果の推定と補正

	人口			構成比と検定						
	社会調個人属 性別ベンチ マーク人口	線形推定値	比推定値	ベンチ マーク 人口構 成比①	線形推定値			比推定値		
					構成 比②	②- ①	有 意性	構成 比③	③- ①	有 意性
総数	113,095,230	110,714,845	113,095,233	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	
10～14歳	6,364,377	6,336,012	6,364,377	5.6	5.7	0.1	*	5.6	0.0	
15～19歳	7,317,042	7,039,935	7,317,042	6.5	6.4	-0.1	*	6.5	0.0	
20～24歳	8,139,812	6,964,162	8,139,812	7.2	6.3	-0.9	*	7.2	0.0	
25～29歳	9,635,217	8,496,260	9,635,217	8.5	7.7	-0.8	*	8.5	0.0	
30～34歳	9,264,404	8,270,252	9,264,403	8.2	7.5	-0.7	*	8.2	0.0	
35～39歳	7,954,237	7,604,040	7,954,237	7.0	6.9	-0.2	*	7.0	0.0	
40～44歳	7,694,769	7,932,412	7,694,769	6.8	7.2	0.4	*	6.8	0.0	
45～49歳	8,439,025	8,387,048	8,439,027	7.5	7.6	0.1	*	7.5	0.0	
50～54歳	10,886,317	10,961,532	10,886,319	9.6	9.9	0.3	*	9.6	0.0	
55～59歳	8,208,934	8,270,056	8,208,934	7.3	7.5	0.2	*	7.3	0.0	
60～64歳	7,780,729	8,173,690	7,780,729	6.9	7.4	0.5	*	6.9	0.0	
65～69歳	7,117,116	7,630,339	7,117,116	6.3	6.9	0.6	*	6.3	0.0	
70～74歳	5,869,947	6,198,308	5,869,947	5.2	5.6	0.4	*	5.2	0.0	
75歳以上	8,423,304	8,450,798	8,423,304	7.4	7.6	0.2	*	7.4	0.0	
男	55,084,304	53,099,940	55,084,304	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	
10～14歳	3,259,178	3,204,409	3,259,178	5.9	6.0	0.1	*	5.9	0.0	
15～19歳	3,742,769	3,535,733	3,742,769	6.8	6.7	-0.1	*	6.8	0.0	
20～24歳	4,146,730	3,587,482	4,146,730	7.5	6.8	-0.8	*	7.5	0.0	
25～29歳	4,869,280	4,172,387	4,869,279	8.8	7.9	-1.0	*	8.8	0.0	
30～34歳	4,668,154	3,921,610	4,668,153	8.5	7.4	-1.1	*	8.5	0.0	
35～39歳	4,002,709	3,684,965	4,002,709	7.3	6.9	-0.3	*	7.3	0.0	
40～44歳	3,862,170	3,885,854	3,862,170	7.0	7.3	0.3	*	7.0	0.0	
45～49歳	4,215,002	4,046,524	4,215,003	7.7	7.6	0.0		7.7	0.0	
50～54歳	5,407,864	5,342,370	5,407,865	9.8	10.1	0.2	*	9.8	0.0	
55～59歳	4,013,269	4,038,007	4,013,269	7.3	7.6	0.3	*	7.3	0.0	
60～64歳	3,751,264	3,973,597	3,751,264	6.8	7.5	0.7	*	6.8	0.0	
65～69歳	3,350,414	3,601,086	3,350,414	6.1	6.8	0.7	*	6.1	0.0	
70～74歳	2,661,256	2,869,642	2,661,256	4.8	5.4	0.6	*	4.8	0.0	
75歳以上	3,134,245	3,236,275	3,134,245	5.7	6.1	0.4	*	5.7	0.0	
女	58,010,926	57,614,906	58,010,929	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	
10～14歳	3,105,199	3,131,603	3,105,199	5.4	5.4	0.1		5.4	0.0	
15～19歳	3,574,273	3,504,202	3,574,273	6.2	6.1	-0.1		6.2	0.0	
20～24歳	3,993,082	3,376,681	3,993,082	6.9	5.9	-1.0	*	6.9	0.0	
25～29歳	4,765,937	4,323,873	4,765,938	8.2	7.5	-0.7	*	8.2	0.0	
30～34歳	4,596,250	4,348,642	4,596,250	7.9	7.5	-0.4	*	7.9	0.0	
35～39歳	3,951,528	3,919,076	3,951,528	6.8	6.8	0.0		6.8	0.0	
40～44歳	3,832,599	4,046,558	3,832,599	6.6	7.0	0.4	*	6.6	0.0	
45～49歳	4,224,023	4,340,524	4,224,024	7.3	7.5	0.3	*	7.3	0.0	
50～54歳	5,478,453	5,619,162	5,478,454	9.4	9.8	0.3	*	9.4	0.0	
55～59歳	4,195,665	4,232,049	4,195,665	7.2	7.3	0.1		7.2	0.0	
60～64歳	4,029,465	4,200,093	4,029,465	6.9	7.3	0.3	*	6.9	0.0	
65～69歳	3,766,702	4,029,253	3,766,702	6.5	7.0	0.5	*	6.5	0.0	
70～74歳	3,208,691	3,328,667	3,208,691	5.5	5.8	0.2	*	5.5	0.0	
75歳以上	5,289,059	5,214,523	5,289,059	9.1	9.1	-0.1		9.1	0.0	

(2) 配偶関係別結果

比推定値の配偶関係別人口の構成比を、母集団による構成比と比較すると、これらは、必ずしも一致しない（第18表）。ただし、比推定値は、線形推定値よりは概して偏りに関して相当程度改善がみられることが分かる。

詳しくみると、「未婚」の比推定値の構成比は母集団と比較して1.4%ポイント低く、「有配偶」は2.7%ポイント高く、「死別・離別」は0.5%ポイント、「不詳」は0.7%ポイントそれぞれ低くなっている。このうち「未婚」、「有配偶」については、線形推定値と母集団における構成比の差よりもそれぞれ1.8%ポイント及び1.5%ポイント改善している。

男女別に比推定値をみても、上記の男女計と同様、線形推定値より概して偏りが改善している。ただし、男性の「未婚」、「有配偶」、女性の「有配偶」などは、母集団における構成比と比較して、それぞれ-2.1%ポイント、+3.4%ポイント、+2.0%ポイントとなっており、依然として相当程度の偏りが残っている。

第18表 男女、配偶関係別人口の構成比 — 結果の推定と補正

	人口			構成比と検定							
	H12国勢調査 結果（一般世帯＋寮・寄宿舎）	線形推定値	比推定値	ベンチ マーク 人口構 成比①	線形推定値			比推定値			(③-①) － (②-①) 絶対値
					構成 比②	②- ①	有意 性	構成 比③	③- ①	有意 性	
総数	106,557,544	104,378,833	106,730,856	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
未婚	29,318,092	25,362,107	27,848,701	27.5	24.3	-3.2	*	26.1	-1.4	*	-1.8
有配偶	64,602,936	67,591,965	67,558,934	60.6	64.8	4.1	*	63.3	2.7	*	-1.5
死別・離別	11,723,332	11,277,594	11,161,758	11.0	10.8	-0.2	*	10.5	-0.5	*	0.3
不詳	913,184	147,167	161,463	0.9	0.1	-0.7	*	0.2	-0.7	*	0.0
男	51,755,981	49,895,530	51,825,126	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
未婚	16,308,050	13,668,562	15,251,069	31.5	27.4	-4.1	*	29.4	-2.1	*	-2.0
有配偶	32,275,328	33,737,854	34,089,544	62.4	67.6	5.3	*	65.8	3.4	*	-1.8
死別・離別	2,644,703	2,438,323	2,426,794	5.1	4.9	-0.2	*	4.7	-0.4	*	0.2
不詳	527,900	50,793	57,719	1.0	0.1	-0.9	*	0.1	-0.9	*	0.0
女	54,801,563	54,483,303	54,905,730	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0		0.0
未婚	13,010,042	11,693,546	12,597,632	23.7	21.5	-2.3	*	22.9	-0.8	*	-1.5
有配偶	32,327,608	33,854,112	33,469,391	59.0	62.1	3.1	*	61.0	2.0	*	-1.2
死別・離別	9,078,629	8,839,271	8,734,965	16.6	16.2	-0.3	*	15.9	-0.7	*	0.3
不詳	385,284	96,374	103,743	0.7	0.2	-0.5	*	0.2	-0.5	*	0.0

(3) 職業別結果

職業別にみると、比推定値と母集団とによる構成比の差は、概して線形推定値よりも改善はしているものの、その改善幅は、それほど大きくない（第19表）。例えば、線形推定値で+1.2%ポイントと母集団における構成比と比較して最もプラス幅の大きい「農林漁業作業員」では、比推定値でも依然として+1.0%ポイントと差が大きく、また、線形推定値で-1.0%ポイントと母集団と比較して最もマイナス幅の大きい「生産工程・労務作業員」では、比推定値でも-0.9%ポイントと、依然として相当程度の差が残っている。

これを男女別にみると、まず、男性では、比推定によって、どの職業分類においても母集団における構成比との差は縮小又はほぼ横ばいとなっているが、「専門的・技術的職業従事者」（+1.4%ポイント）、「生産工程・労務作業員」（-1.8%ポイント）などで、依然として差が大きくなっている。また、女性についても同様に、「専門的・技術的職業従事者」（-1.1%ポイント）、「農林漁業作業員」（+1.4%ポイント）など、多くの職業分類で改善がみられるものの、依然として差は大きい。

第19表 男女、職業別人口の構成比 — 結果の推定と補正

	人口			構成比と検定						
	H14就業構造基本調査結果	線形推定値	比推定値	ベンチマーク人口構成比①	線形推定値			比推定値		
					構成比②	②-①	有意性	構成比③	③-①	有意性
										(③-①) — (②-①) 絶対値
総数	65,009,300	66,124,614	68,521,855	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	8,997,500	9,358,399	9,723,474	13.8	14.2	0.3	*	14.2	0.3	*
技術者	2,469,600	2,891,223	3,067,066	3.8	4.4	0.6	*	4.5	0.7	*
教員	1,462,400	1,369,259	1,437,274	2.2	2.1	-0.2	*	2.1	-0.2	*
その他の専門的・技術的職業従事者	5,065,400	5,097,917	5,219,133	7.8	7.7	-0.1	*	7.6	-0.2	*
管理的職業従事者	2,046,500	2,333,377	2,297,820	3.1	3.5	0.4	*	3.4	0.2	*
事務従事者	12,750,500	12,676,666	13,188,199	19.6	19.2	-0.4	*	19.2	-0.4	*
販売従事者	9,375,100	9,332,117	9,688,730	14.4	14.1	-0.3	*	14.1	-0.3	*
保安職業、サービス職業従事者	7,311,500	7,264,296	7,533,195	11.2	11.0	-0.3	*	11.0	-0.3	*
家庭生活支援サービス職業従事者	262,900	313,691	303,822	0.4	0.5	0.1	*	0.4	0.0	*
保安職業従事者	1,034,800	846,154	878,416	1.6	1.3	-0.3	*	1.3	-0.3	*
その他のサービス職業従事者	6,013,900	6,104,451	6,350,956	9.3	9.2	0.0	*	9.3	0.0	*
農林漁業作業者	2,978,000	3,836,317	3,858,085	4.6	5.8	1.2	*	5.6	1.0	*
運輸・通信従事者	2,195,000	2,069,898	2,181,778	3.4	3.1	-0.2	*	3.2	-0.2	*
生産工程・労務作業	18,452,800	18,082,694	18,832,360	28.4	27.3	-1.0	*	27.5	-0.9	*
採掘作業	33,700	25,684	27,037	0.1	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業	14,794,300	14,517,220	15,174,157	22.8	22.0	-0.8	*	22.1	-0.6	*
労務作業	3,624,800	3,539,790	3,631,166	5.6	5.4	-0.2	*	5.3	-0.3	*
分類不能の職業	902,400	1,170,850	1,218,214	1.4	1.8	0.4	*	1.8	0.4	*
男	38,034,100	37,761,255	39,672,360	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	4,849,400	5,360,456	5,612,642	12.8	14.2	1.4	*	14.1	1.4	*
技術者	2,266,700	2,692,081	2,844,432	6.0	7.1	1.2	*	7.2	1.2	*
教員	758,800	728,489	771,425	2.0	1.9	-0.1	*	1.9	-0.1	*
その他の専門的・技術的職業従事者	1,823,800	1,939,886	1,996,785	4.8	5.1	0.3	*	5.0	0.2	*
管理的職業従事者	1,820,600	2,110,320	2,077,260	4.8	5.6	0.8	*	5.2	0.4	*
事務従事者	4,911,100	4,793,024	5,072,490	12.9	12.7	-0.2	*	12.8	-0.1	*
販売従事者	5,847,900	5,575,314	5,875,092	15.4	14.8	-0.6	*	14.8	-0.6	*
保安職業、サービス職業従事者	3,147,300	2,937,765	3,108,320	8.3	7.8	-0.5	*	7.8	-0.4	*
家庭生活支援サービス職業従事者	11,600	19,353	19,619	0.0	0.1	0.0	*	0.0	0.0	*
保安職業従事者	982,100	818,056	846,599	2.6	2.2	-0.4	*	2.1	-0.4	*
その他のサービス職業従事者	2,153,700	2,100,357	2,242,102	5.7	5.6	-0.1	*	5.7	0.0	*
農林漁業作業者	1,736,300	2,115,175	2,126,088	4.6	5.6	1.0	*	5.4	0.8	*
運輸・通信従事者	2,093,300	1,949,153	2,068,192	5.5	5.2	-0.3	*	5.2	-0.3	*
生産工程・労務作業	13,100,200	12,167,984	12,946,484	34.4	32.2	-2.2	*	32.6	-1.8	*
採掘作業	32,900	24,503	25,830	0.1	0.1	0.0	*	0.1	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業	11,129,700	10,419,096	11,079,314	29.3	27.6	-1.7	*	27.9	-1.3	*
労務作業	1,937,500	1,724,384	1,841,339	5.1	4.6	-0.5	*	4.6	-0.5	*
分類不能の職業	528,000	752,063	785,794	1.4	2.0	0.6	*	2.0	0.6	*
女	26,975,300	28,363,359	28,849,495	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	0.0
専門的・技術的職業従事者	4,148,100	3,997,943	4,110,832	15.4	14.1	-1.3	*	14.2	-1.1	*
技術者	202,900	199,142	222,634	0.8	0.7	-0.1	*	0.8	0.0	*
教員	703,600	640,770	665,850	2.6	2.3	-0.3	*	2.3	-0.3	*
その他の専門的・技術的職業従事者	3,241,700	3,158,031	3,222,348	12.0	11.1	-0.9	*	11.2	-0.8	*
管理的職業従事者	225,900	223,058	220,561	0.8	0.8	-0.1	*	0.8	-0.1	*
事務従事者	7,839,300	7,883,642	8,115,709	29.1	27.8	-1.3	*	28.1	-0.9	*
販売従事者	3,527,200	3,756,803	3,813,638	13.1	13.2	0.2	*	13.2	0.1	*
保安職業、サービス職業従事者	4,164,200	4,326,531	4,424,875	15.4	15.3	-0.2	*	15.3	-0.1	*
家庭生活支援サービス職業従事者	251,200	294,338	284,203	0.9	1.0	0.1	*	1.0	0.1	*
保安職業従事者	52,700	28,099	31,817	0.2	0.1	-0.1	*	0.1	-0.1	*
その他のサービス職業従事者	3,860,400	4,004,094	4,108,854	14.3	14.1	-0.2	*	14.2	-0.1	*
農林漁業作業者	1,241,700	1,721,142	1,731,998	4.6	6.1	1.5	*	6.0	1.4	*
運輸・通信従事者	101,700	120,744	113,586	0.4	0.4	0.0	*	0.4	0.0	*
生産工程・労務作業	5,352,600	5,914,710	5,885,876	19.8	20.9	1.0	*	20.4	0.6	*
採掘作業	800	1,180	1,207	0.0	0.0	0.0	*	0.0	0.0	*
製造・制作・機械運転及び建設作業	3,664,700	4,098,124	4,094,842	13.6	14.4	0.9	*	14.2	0.6	*
労務作業	1,687,300	1,815,406	1,789,827	6.3	6.4	0.1	*	6.2	-0.1	*
分類不能の職業	374,500	418,787	432,420	1.4	1.5	0.1	*	1.5	0.1	*

(4) 家族類型別結果

家族類型別にみると、当然ながら、比推定値による構成比は世帯属性別ベンチマーク人口の構成比に一致する。(第20表)

さきにも述べた通り、平成13年調査では新たに地域、世帯属性別のベンチマーク人口を用いて比推定を行ったが、平成8年以前の調査では、家族類型別の結果表についても、男女、年齢階級別ベンチマーク人口を用いて比推定を行い、結果を集計していた。ここでは、世帯属性別ベンチマーク人口による比推定の効果を明らかにするため、仮に平成8年までの方法を用いて13年の比推定値の算出を行った場合、どのような結果になるかを試算してみた。

男女、年齢階級別ベンチマーク人口を用いて算出した集計用乗率(人口乗率)で、家族類型別人口を集計すると(第21表)、「夫婦のみの世帯」(「夫」及び「妻」)では+0.9%ポイント、「単身世帯」では-1.7%ポイント母集団における構成比と差が出るなど、比推定値であっても依然として相当程度の偏りが存在することになることが分かった。つまり、平成13年社会生活基本調査では、地域、世帯属性(家族類型)別の比推定を行ったことにより、家族類型別の結果表においても、相当程度偏りを解消することができたといえる。

第20表 世帯属性別人口の構成比 - 結果の推定と補正

	人口			構成比と検定						
	社会調査世帯属性別ベンチマーク人口	線形推定値	比推定値	ベンチマーク人口構成比①	線形推定値			比推定値		
					構成比②	②-①	有意性	構成比③	③-①	有意性
総数	98,744,243	96,830,093	98,744,243	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	10,199,071	9,102,832	9.2	10.5	1.3	*	9.2	0.0	
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	10,240,934	9,102,832	9.2	10.6	1.4	*	9.2	0.0	
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	14,454,323	14,897,327	15.1	14.9	-0.2	*	15.1	0.0	
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	14,501,581	14,897,327	15.1	15.0	-0.1	*	15.1	0.0	
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	15,360,370	16,444,901	16.7	15.9	-0.8	*	16.7	0.0	
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	219,872	198,900	0.2	0.2	0.0	*	0.2	0.0	
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	222,870	198,900	0.2	0.2	0.0	*	0.2	0.0	
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	437,581	397,800	0.4	0.5	0.0	*	0.4	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	38,856	42,013	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	39,520	42,013	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	77,225	84,026	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	538,256	547,588	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	542,279	547,588	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	535,760	547,588	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	148,321	164,466	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	148,673	164,466	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	148,491	164,466	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,438,788	1,392,261	1.4	1.5	0.1	*	1.4	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,436,959	1,392,261	1.4	1.5	0.1	*	1.4	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,702,547	1,791,817	1.8	1.8	-0.1	*	1.8	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,877,750	2,784,522	2.8	3.0	0.2	*	2.8	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	1,971,215	2,038,843	2.1	2.0	0.0		2.1	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	1,966,253	2,038,843	2.1	2.0	0.0		2.1	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,714,121	2,920,835	3.0	2.8	-0.2	*	3.0	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	1,957,945	2,038,843	2.1	2.0	0.0		2.1	0.0	
父子世帯：父	87,248	89,167	87,248	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
父子世帯：子供	102,589	98,691	102,589	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
母子世帯：母	647,366	560,216	647,366	0.7	0.6	-0.1	*	0.7	0.0	
母子世帯：子供	688,468	553,197	688,468	0.7	0.6	-0.1	*	0.7	0.0	
単身世帯	13,275,314	11,609,265	13,275,314	13.4	12.0	-1.5	*	13.4	0.0	

第21表 世帯属性別人口の構成比 ― 結果の推定と補正（世帯乗率と人口乗率）

	人口			構成比と検定						
	社会調査世帯 属性別ベンチ マーク人口	比推定値 (世帯乗率)	比推定値 (人口乗率)	ベンチ マーク 人口構 成比①	比推定値 (世帯乗率)			比推定値 (人口乗率)		
					構成 比②	②- ①	有意 性	構成 比③	③- ①	有意 性
総数	98,744,243	98,744,243	97,668,227	100.0	100.0	0.0		100.0	0.0	
夫婦のみの世帯：夫	9,102,832	9,102,832	9,900,374	9.2	9.2	0.0		10.1	0.9	*
夫婦のみの世帯：妻	9,102,832	9,102,832	9,913,681	9.2	9.2	0.0		10.2	0.9	*
夫婦と子供の世帯：夫	14,897,327	14,897,327	14,790,479	15.1	15.1	0.0		15.1	0.1	
夫婦と子供の世帯：妻	14,897,327	14,897,327	14,265,566	15.1	15.1	0.0		14.6	-0.5	*
夫婦と子供の世帯：子供	16,444,901	16,444,901	16,613,050	16.7	16.7	0.0		17.0	0.4	*
夫婦と夫の両親の世帯：夫	198,900	198,900	217,922	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	*
夫婦と夫の両親の世帯：妻	198,900	198,900	226,434	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	*
夫婦と夫の両親の世帯：夫の両親	397,800	397,800	408,384	0.4	0.4	0.0		0.4	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：夫	42,013	42,013	39,629	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻	42,013	42,013	40,448	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
夫婦と妻の両親の世帯：妻の両親	84,026	84,026	74,558	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫	547,588	547,588	528,115	0.6	0.6	0.0		0.5	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：妻	547,588	547,588	538,205	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と夫のひとり親の世帯：夫のひとり親	547,588	547,588	547,673	0.6	0.6	0.0		0.6	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：夫	164,466	164,466	149,536	0.2	0.2	0.0		0.2	0.0	
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻	164,466	164,466	143,016	0.2	0.2	0.0		0.1	0.0	*
夫婦と妻のひとり親の世帯：妻のひとり親	164,466	164,466	144,981	0.2	0.2	0.0		0.1	0.0	*
夫婦、子供と両親の世帯：夫	1,392,261	1,392,261	1,517,622	1.4	1.4	0.0		1.6	0.1	*
夫婦、子供と両親の世帯：妻	1,392,261	1,392,261	1,467,319	1.4	1.4	0.0		1.5	0.1	*
夫婦、子供と両親の世帯：子供	1,791,817	1,791,817	1,814,294	1.8	1.8	0.0		1.9	0.0	
夫婦、子供と両親の世帯：両親	2,784,522	2,784,522	2,769,600	2.8	2.8	0.0		2.8	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：夫	2,038,843	2,038,843	1,981,254	2.1	2.1	0.0		2.0	0.0	
夫婦、子供とひとり親の世帯：妻	2,038,843	2,038,843	1,925,808	2.1	2.1	0.0		2.0	-0.1	*
夫婦、子供とひとり親の世帯：子供	2,920,835	2,920,835	2,945,108	3.0	3.0	0.0		3.0	0.1	*
夫婦、子供とひとり親の世帯：ひとり親	2,038,843	2,038,843	1,911,047	2.1	2.1	0.0		2.0	-0.1	*
父子世帯：父	87,248	87,248	95,338	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
父子世帯：子供	102,589	102,589	99,785	0.1	0.1	0.0		0.1	0.0	
母子世帯：母	647,366	647,366	560,330	0.7	0.7	0.0		0.6	-0.1	*
母子世帯：子供	688,468	688,468	566,770	0.7	0.7	0.0		0.6	-0.1	*
単身世帯	13,275,314	13,275,314	11,471,901	13.4	13.4	0.0		11.7	-1.7	*

(5) まとめ

男女別及び男女、年齢階級別人口の比推定値による構成比は、当然のことながら、母集団人口である社会生活基本調査の個人属性別ベンチマーク人口による構成比と一致している。

一方、比推定値の配偶関係別構成比を、平成12年国勢調査結果による人口の構成比と比較すると、必ずしも一致していない。比推定値は、線形推定値よりは概して偏りに関して相当程度改善がみられるものの、依然として母集団と比較して、偏りは存在している。

職業別にみると、比推定値と平成14年就業構造基本調査の結果による人口の構成比との差は、線形推定値よりも改善はしているものの、その改善幅はそれほど大きくない。

家族類型別にみると、当然ながら、比推定値による人口の構成比は母集団人口である世帯属性別ベンチマーク人口による構成比に一致している。また、平成13年社会生活基本調査では、地域、世帯属性（家族類型）別の比推定を行ったことにより、家族類型別の結果表においても、相当程度偏りを解消することができたといえる。

IV まとめ

男女、年齢階級、配偶関係、職業、家族類型別に人口の構成比をみると、当初標本、代替標本を問わず、実際に調査された標本は、母集団に比べてある程度の偏りが生じていることが分かった。また、代替標本についてみると、多くの場合で当初標本よりも偏りの度合いが大きいことが分かった。

しかし、平成 13 年社会生活基本調査では、結果の推定を行う際に、平成 12 年国勢調査結果等に基づく男女、年齢階級別人口及び世帯の家族類型別人口をベンチマークとして比推定を行うことにより、人口の構成比を補正しているため、上記の偏りは基本的な属性に関しては相当程度改善されていることが分かった。ただし、配偶関係、職業など、ベンチマークにしていない属性については、相当程度の偏りの改善はみられるものの、依然として人口構成にある程度の偏りが存在している。

上記のように、代替標本における偏りの度合いは、多くの場合で当初標本のそれよりも大きくになっているが、代替標本をとることは、標本数を確保し、結果精度を向上させる役割も果たしている。都道府県別にみて、代替標本が全体の 25% に達している都道府県も存在することを考慮すると、代替標本をとることはやむを得ない措置と考えられる^(注9)。

おわりに

以上、標本の代表性と調査結果の推定方法及び推定結果の評価に関して分析を行った結果を述べた。

本稿の目的は、調査結果の正しい理解と利用を確保する観点から、代替標本を含む標本の状況を把握するとともに、調査結果の補正を含めた結果の推定方法について考察を加えることであった。当初標本で調査ができなかったものについての情報が全くと言っていいほどないというかなり制約された状況の中で、当初標本、代替標本の抽出状況及び結果の推定状況等に関して一定の分析を行うことができたと思う。

しかし、標本の代表性や結果の推定方法については、まだ分析すべきことがあると思われる。例えば、

- 代替標本をとらなかった場合の集計（当初標本で調査できたもののみによる集計）を行い、その結果と 13 年調査結果とを比較し、代替標本をとることの是非を標本誤差との関係も含めて定量的に分析すること。
- 調査票 B に関する本稿と同様の分析を行い、調査票 A と調査票 B とに関する分析結果を比較すること。

などが考えられる。このような事項についてさらに分析を行う機会が得られれば、今後の社会生活基本調査の企画や標本設計の検討に役立つものとする。

注9 単純無作為抽出を行ったと仮定して計算すると、標本数が当初予定の 75% しか確保できなかった場合は、標準誤差が当初予定より 15% 程度増大する。

付録 検定の方法

標本と母集団とにおける比率の差の有意性の検定は、以下の方法によった。

一般に、2つの標本集団において当該属性をもつ標本の構成比の差の有意性は、以下の式によって判定できる。(有意水準5%の場合)

$$1.96 < |Z_0| = \left| \frac{x_2}{n_2} - \frac{x_1}{n_1} \right| / \sqrt{\frac{x_1}{n_1} \left(1 - \frac{x_1}{n_1} \right) \left(\frac{1}{n_1} + \frac{1}{n_2} \right)}$$

Z_0 : 検定統計量

x_1 : 標本集団1において当該属性をもつ標本の数

n_1 : 標本集団1の標本数

x_2 : 標本集団2において当該属性をもつ標本の数

n_2 : 標本集団2の標本数

すなわち、

$$\left| \frac{x_2}{n_2} - \frac{x_1}{n_1} \right| > 1.96 \sqrt{\frac{x_1}{n_1} \left(1 - \frac{x_1}{n_1} \right) \left(\frac{1}{n_1} + \frac{1}{n_2} \right)}$$

を満たす $\left| \frac{x_2}{n_2} - \frac{x_1}{n_1} \right|$ は、有意に差があるといえる。

標本における構成比と母集団における構成比との差の有意性の検定を行う場合には、母集団を n_1 とした場合、 $1/n_1$ が限りなく0に近づくと考えればよいので、以下の数式により計算することができる。

$$\left| \frac{x_2}{n_2} - \hat{p} \right| > 1.96 \sqrt{\hat{p}(1-\hat{p})/n_2}$$

$\hat{p}$: 母集団において当該属性を持つものの比率

x_2 : 標本集団において当該属性をもつ標本の数

n_2 : 標本集団の標本数